点検整備記録簿
特定整備記録簿（写）

● 点検の結果及び整備の概要
12ヶ月定期点検

3（　　）
12（　　＋　　）
（☆印は3ヶ月2,000km以下の走行距離によって省略できる項目）

点検良好	良 レ	交換	交 ×	調整	調 A	清掃	清 C	省略	省 P
特定整備	特 ○	修理	修 △	締付	締 T	給油(水)	給 L	該当なし	／

型式指定・類別区分番号
オーダー・ナンバー
次回点検年月日　　年　月　日

[redacted]

車台番号 FRR90 -706545

事業用自動車等・別表第3

注 点検整備記録簿は法令により二年間携行保存することとなっておりますが、生涯記録簿として長期間携行保存してください。

■ステアリング装置
- ハンドルの操作具合 ／ ハンドルの遊び、がた　レ
- ステアリング・ギヤ・ボックスのオイルの漏れ／ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み　レ
- ☆ロッド、アーム類の緩み、がた、損傷
- ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷
- ☆ステアリング・ナックルの連結部のがた／ホイール・アライメント　レ
- パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷／パワー・ステアリングのオイルの漏れ☆　レ
- ☆パワー・ステアリングのオイルの量／パワー・ステアリングの取付けの緩み　レ

■ブレーキ装置
- ブレーキ・ペダルの遊び／ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間　レ
- ブレーキの効き具合
- パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ（ホイール・パークの作動）
- パーキング・ブレーキの効き具合
- ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態／ブレーキ液の量　レ
- ブレーキ・マスタ・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・チャンバのロッドのストローク／ブレーキ・チャンバの機能　／
- ブレーキ・バルブ、クイック・レリーズ・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
- ブレーキ倍力装置の油密、気密、チェック・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ・カムの摩耗／ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
- ☆ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗／ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷
- ブレーキのバック・プレートの取付／ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間☆
- ☆ブレーキ・パッドの摩耗／ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷
- センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
- センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
- センタ・ブレーキのライニングの摩耗／センタ・ブレーキ・ドラムの摩耗・損傷　レ
- 二重安全ブレーキ機構の機能

■走行装置
- ☆タイヤの空気圧　A ／ タイヤの亀裂、損傷☆　レ
- ☆タイヤの溝の深さ、異常摩耗／スペア・タイヤの空気圧　レ
- ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み ／ ホイール・ナット、ホイール・ボルトの脱落 ※　／

- リム、サイド・リング、ディスク・ホイールの損傷　レ
- ☆フロント・ホイール・ベアリングのがた／リヤ・ホイール・ベアリングのがた　C

■サスペンション
- リーフ・スプリングの損傷　レ
- リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付部の緩み、損傷　レ
- リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部のがた　レ
- コイル・スプリングの損傷　／
- コイル・サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた　／
- コイル・サスペンション各部の損傷／エア・サスペンションのエア漏れ　／
- ☆エア・サスペンションのベローズの損傷　／
- ☆エア・サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷　／
- エア・サスペンションのレベリング・バルブの機能　／
- ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ　レ

■動力伝達装置
- クラッチ・ペダルの遊び　レ
- クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間　レ
- クラッチの作用 ／ クラッチ液の量　レ　レ
- ☆トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ／トランスミッション、トランスファのオイルの量☆　レ　レ
- ☆プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み　レ
- ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷　／
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン部のがた　✓
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のがた　レ
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのセンタ・ベアリングのがた　レ
- ☆デファレンシャルのオイル漏れ／デファレンシャルのオイル量☆　レ

■電気装置
- ☆スパーク・プラグの状態（白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可）　レ
- 点火時期 ／ディストリビュータのキャップの状態　／
- バッテリのターミナル部の緩み、腐食／電気配線の接続部の緩み、損傷　レ

■エンジン
- 低速、加速の状態 ／ 排気ガスの色　レ
- CO、HCの濃度／エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷☆　C
- シリンダ・ヘッド、マニホールド各部の締付状態　レ
- エンジン・オイルの漏れ ／ 燃料漏れ　レ

- ファン・ベルトの緩み、損傷／冷却水の漏れ　✓

■ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置
- メタリング・バルブの状態／ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷　レ
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷　／
- チャコール・キャニスタの詰まり、損傷　／
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能　／
- 触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷　レ
- 二次空気供給装置の機能／排気ガス再循環装置の機能　／
- 減速時排気ガス減少装置の機能　／
- 一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態　レ

■附属装置等
- ホーンの作用　レ ／ ワイパの作用　レ
- ウインド・ウォッシャの作用 ／ デフロスタの作用　✓
- ハンドル・ロック装置の作用　レ
- ☆エキゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食　✓
- ☆遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食　✓
- マフラの機能 ／ エア・タンクの凝水　レ
- エア・コンプレッサの機能／プレッシャ・レギュレータ、アンローダ・バルブの機能　レ
- 非常口の扉の機能／フレーム、ボディーの緩み、損傷　レ
- 連結装置のカプラの機能、損傷　／
- 連結装置のピントル・フックの摩耗、亀裂、損傷　／
- ◎シート・ベルトの損傷、作用　レ
- 開扉発車防止装置の機能／シャシ各部の給油脂状態　L
- ※スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷　／
- ※スペアタイヤの取付状態／ツールボックスの取付部の緩み及び損傷※　／

■高圧ガスを燃料とする燃料装置等
- パイプ・ジョイント部のガス漏れ、損傷／ガス・ボンベ取付部の緩み、損傷　／
- ガス・ボンベ、ガス・ボンベ附属品の損傷　／

日常点検
- バッテリ液の量 ／ 冷却水の量　レ
- エンジン・オイルの量／エンジンのかかり具合、異音　レ
- ヘッド・ランプ、ストップ・ランプ、ウィンカ・ランプ等の点灯、汚れ、損傷 ／ ※ディスク・ホイールの取付状態　／

■車載式故障診断装置点検
- レ OBDの診断の結果

その他の点検・整備項目
最大積載量ステッカー

厳しい使われ方をする車の点検項目
- ステアリング・ギヤ・ボックスの機能
- ナックル、かじ取り車輪の旋回動作
- シャシばね、ショック・アブソーバの緩衝能力
- トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの回転時の状態
- エンジンの運転状態

特殊な構造及び装置の点検項目
ターボチャージャーロータの[illegible]

交換部品等	数量
Fブレーキスリーブ	
ブレーキ液	
ホーシンググリス	
ワイパーゴム	
RアウターシールOH	
特殊スラッカ	
PCレコメント	

メンテナンスに関するアドバイス

●CO、HC濃度（アイドリング時）

CO	%
HC	ppm

●タイヤの溝の深さ（1.6mm以上）

	左	右
前輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm
後輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

	左	右
前輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm
後輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm

[redacted]

点検年月日　7年 7月 12日

整備完了年月日　年 月 日

点検（整備）時の総走行距離　km

使用者用

※印の項目は、車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車が対象。
◎印の点検は、人の運送の用に供するバス、タクシー、レンタカー等が対象。
／ ステアリング装置、ブレーキ装置、走行装置、サスペンション、動力伝達装置、電気装置、エンジン、ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置、附属装置等、高圧ガスを燃料とする燃料装置等の各点検項目は法に定められた定期点検項目を示します。　OBDとは車載式故障診断装置を示します。

● 検査機器等による検査

制動力

			右	軸重	左右差
前軸	前前軸	右	7610 N		30 N
		左	7640 N	2495 kg	0.02 N/kg
	前後軸	右	------	軸重 ------ kg	左右差 ------
		左	------		
後軸	後前軸	右	------	軸重 ------ kg	左右差 ------
		左	------		
	後後軸	右	6630 N	軸重 2410 kg	左右差 910 N
		左	7540 N	5.87 N/kg	0.38 N/kg
計			29420 N	車両重量	5.99 N/kg
手動			11150 N	4905 kg	2.27 N/kg

走行テスト等の方法と結果

前照灯

	右	左
取付高さ	すれ違い灯 91.0 cm	91.0 cm
光軸 下	10.2 cm	8.3 cm
光軸 左・右	3.5 cm	右 8.2 cm
光度 主×100	**** cd	**** cd
光度 副×100	189 cd	219 cd

前部霧灯	警音器
×100 ------ cd	聴感・テスタ 99 デシベル
速度計の誤差	定常走行騒音
＋・－ 2.7 km/h	聴感・テスタ 良好 デシベル
OBD検査結果	排気騒音
良 否	聴感・テスタ 良好 デシベル
タイヤの振れ	C O
良・否	------ %
サイド・スリップ	H C
イン・アウト 0.6 mm	4～・2～・特殊 ------ ppm
	黒煙・粒子状物質
	視認・テスタ 0.31 %

● 目視等による検査

構造	① 最低地上高	レ	③ 最小回転半径	レ
	② 最大安定傾斜角度	レ		
装置	① 原動機及び動力伝達装置	レ	⑪ 騒音防止装置	レ
	② 走行装置	レ	⑫ ばい煙等の発散防止装置	レ
	③ 操縦装置	レ	⑬ 灯火装置及び反射器	レ
	④ 制動装置	レ	⑭ 警報装置	レ
	⑤ 緩衝装置	レ	⑮ 指示装置	レ
	⑥ 燃料装置及び電気装置	レ	⑯ 視野を確保する装置	レ
	⑦ 車枠及び車体	レ	⑰ 走行距離計その他の計器	レ
	⑧ 連結装置	／	⑱ 防火装置	／
	⑨ 乗車装置及び物品積載装置	レ	⑲ 内圧容器及びその附属装置	レ
	⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス	レ	⑳ 自動運行装置	／
			㉑ その他	レ

黒煙の視認は空ぶかし実施による

1回目	2回目	3回目
0.309 %	------ m⁻¹	------ m⁻¹

● 自動車検査証、登録識別情報等通知書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名	型式	乗車定員	最大積載量
普通・小型・軽・大特	貨物	自家用・事業用	バン	いすゞ	TKG-FRR90S2	2 人	3000 kg

車両重量	車両総重量	原動機の型式	長さ	幅	高さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	その他
4850 kg	7960 kg	4HK1	830 cm	249 cm	352 cm	5.19 kw	ガソリン・軽油 LPG・CNG・その他	燃料タンク 200 l

● 依頼者の氏名等

受付年月日	7年 7月 12日
依頼者の氏名又は名称及び住所	[redacted]

(依頼者の依頼事項)
各部点検

(備考) BJ675260

受入　中間　作業者 [redacted]

初度登録年月又は初度検査年月
26年 8月
検査の年月日
7年 7月 13日
自動車検査員の氏名 [redacted]

保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	保安基準適合標章交付
1522	(有)・無

限定保安基準適合証の番号

[ ] は様式に定められていない項目を示す。

令和6年　改正A3

型式 241001 S-160B

点検整備記録簿
特定整備記録簿（写）

● 点検の結果及び整備の概要

3（　　）
12（　　＋　　）（☆印は3ヶ月2,000km以下の走行距離によって省略できる項目）

点検良好	良 レ	交換	交 ×	調整	調 A	清掃	清 C	省略	省 P
特定整備	特 ○	修理	修 △	締付	締 T	給油(水)	給 L	該当なし	／

型式指定・類別区分番号
オーダー・ナンバー
次回点検年月日　　年　月　日

[redacted]

車台番号 FRR90 -7065490

事業用自動車等・別表第3

注 点検整備記録簿は法令により二年間携行保存することとなっておりますが、生涯記録簿として長期間携行保存してください。

■ステアリング装置

レ	ハンドルの操作具合 ／ ハンドルの遊び、がた　レ
／	ステアリング・ギヤ・ボックスのオイルの漏れ／ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み　レ
レ	☆ロッド、アーム類の緩み、がた、損傷
レ	ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷
レ	☆ステアリング・ナックルの連結部のがた／ホイール・アライメント　レ
／	パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷／パワー・ステアリングのオイルの漏れ☆　レ
レ	☆パワー・ステアリングのオイルの量／パワー・ステアリングの取付けの緩み　レ

■ブレーキ装置

レ	ブレーキ・ペダルの遊び／ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間　レ
レ	ブレーキの効き具合
レ	パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ（ホイール・パークの作動）
レ	パーキング・ブレーキの効き具合
レ	ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態／ブレーキ液の量　×
レ	ブレーキ・マスタ・シリンダの機能、摩耗、損傷
レ	ブレーキ・ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷
／	ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷
／	ブレーキ・チャンバのロッドのストローク／ブレーキ・チャンバの機能　／
レ	ブレーキ・バルブ、クイック・レリーズ・バルブ、リレー・バルブの機能
レ	ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
レ	ブレーキ倍力装置の油密、気密、チェック・バルブ、リレー・バルブの機能
／	ブレーキ・カムの摩耗／ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間　A
レ	☆ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗／ブレーキ・ドラムの損傷　C
レ	ブレーキのバック・プレートの取付／ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間☆　／
／	☆ブレーキ・パッドの摩耗／ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷　／
レ	センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
レ	センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
レ	センタ・ブレーキのライニングの摩耗／センタ・ブレーキ・ドラムの摩耗・損傷　レ
レ	二重安全ブレーキ機構の機能

■走行装置

A	☆タイヤの空気圧　A ／ タイヤの亀裂、損傷☆　レ
レ	☆タイヤの溝の深さ、異常摩耗／スペア・タイヤの空気圧　レ
ー	ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み ／ ホイール・ナット、ホイール・ボルトの損傷　※
レ	リム、サイド・リング、ディスク・ホイールの損傷
C	☆フロント・ホイール・ベアリングのがた／リヤ・ホイール・ベアリングのがた　C

■サスペンション

レ	リーフ・スプリングの損傷
レ	リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付部の緩み、損傷
レ	リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部のがた
／	コイル・スプリングの損傷
／	コイル・サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた
／	コイル・サスペンション各部の損傷／エア・サスペンションのエア漏れ　／
／	☆エア・サスペンションのベローズの損傷
／	☆エア・サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷
／	エア・サスペンションのレベリング・バルブの機能
レ	ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ

■動力伝達装置

レ	クラッチ・ペダルの遊び
レ	クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間
レ	クラッチの作用 ／ クラッチ液の量　レ
レ	☆トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ／トランスミッション、トランスファのオイルの量☆　×
レ	☆プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み
／	ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン部のがた
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のがた
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのセンタ・ベアリングのがた
レ	☆デファレンシャルのオイル漏れ／デファレンシャルのオイル量☆　×

■電気装置

／	☆スパーク・プラグの状態（白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可）
／	点火時期 ／ディストリビュータのキャップの状態　／
レ	バッテリのターミナル部の緩み、腐食／電気配線の接続部の緩み、損傷　レ

■エンジン

レ	低速、加速の状態 ／ 排気ガスの色　レ
／	CO、HCの濃度／エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷☆　C
レ	シリンダ・ヘッド、マニホールド各部の締付状態
レ	エンジン・オイルの漏れ ／ 燃料漏れ　レ
×	ファン・ベルトの緩み、損傷／冷却水の漏れ　レ

■ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置

レ	メタリング・バルブの状態／ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷　レ
／	燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷
／	チャコール・キャニスタの詰まり、損傷
／	燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能
レ	触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
／	二次空気供給装置の機能／排気ガス再循環装置の機能　レ
／	減速時排気ガス減少装置の機能
レ	一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態

■附属装置等

レ	ホーンの作用 ／ ワイパの作用　×
レ	ウインド・ウォッシャの作用 ／ デフロスタの作用　レ
レ	ハンドル・ロック装置の作用
レ	☆エキゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食
レ	☆遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食
レ	マフラの機能 ／ エア・タンクの凝水　レ
レ	エア・コンプレッサの機能／プレッシャ・レギュレータ、アンローダ・バルブの機能　レ
／	非常口の扉の機能／フレーム、ボディーの緩み、損傷　レ
／	連結装置のカプラの機能、損傷
／	連結装置のピントル・フックの摩耗、亀裂、損傷
レ	◎シート・ベルトの損傷、作用
／	開扉発車防止装置の機能／シャシ各部の給油脂状態　レ
／	※スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷
／	※スペアタイヤの取付状態
／	※ツールボックスの取付部の緩み及び損傷

■高圧ガスを燃料とする燃料装置等

／	パイプ・ジョイント部のガス漏れ、損傷／ガス・ボンベ取付部の緩み、損傷　／

日常点検

レ	バッテリ液の量 ／ 冷却水の量　レ
レ	エンジン・オイルの量／エンジンのかかり具合、異音　レ
レ	ヘッド・ランプ、ストップ・ランプ、ウインカ・ランプ等の点灯、汚れ、損傷 ／ ※ディスク・ホイールの取付状態　レ

■車載式故障診断装置点検

レ	OBDの診断の結果

その他の点検・整備項目

サンフレア	×
アンダーミラー	×
スペアタイヤ	T

厳しい使われ方をする車の点検項目

ステアリング・ギヤ・ボックスの機能	レ
ナックル、かじ取り車輪の旋回動作	レ
シャシばね、ショック・アブソーバの緩衝能力	レ
トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能	レ
プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの回転時の状態	レ
エンジンの運転状態	レ

特殊な構造及び装置の点検項目

ターボチャージャーロータの回転具合	レ

交換部品等

	数量
ブレーキ液	2
ATクーラーシール（リヤ）	1
エンジンオイル	8
エアフィルタ	1
ラジエータホース	1
エアコンベルト	1
フューエルエレメント	1
PCVエレメント	1
アンダーミラー	1

メンテナンスに関するアドバイス

サンフレヤ	1
フロントパーコム	3
カートリッジグリス	1

使用者用

●CO、HC濃度（アイドリング時）

CO	%
HC	ppm

●タイヤの溝の深さ（1.6mm以上）

	左	右
前輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm
後輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

	左	右
前輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm
後輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm

[redacted]

点検年月日　6年 7月 6日
整備完了年月日　年 月 日
点検（整備）時の総走行距離　km

※印の項目は、車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車が対象。
◎印の点検は、人の運送の用に供するバス、タクシー、レンタカー等が対象。
／ ステアリング装置、ブレーキ装置、走行装置、サスペンション、動力伝達装置、電気装置、エンジン、ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置、附属装置等、高圧ガスを燃料とする燃料装置等の各点検項目は法に定められた定期点検項目を示します。　OBDとは車載式故障診断装置を示します。

● 検査機器等による検査

制動力

前軸	前前軸	右	8070 N	軸重 2495 kg　左右差 1150 N　0.46 N/kg
		左	6920 N	
	前後軸	右	------	軸重 ------ kg　左右差 ------
		左	------	
後軸	後前軸	右	------	軸重 ------ kg　左右差 ------
		左	------	
	後後軸	右	5910 N	軸重 2410 kg　左右差 1090 N
		左	7000 N	5.35 N/kg　0.46 N/kg
計			27900 N	車両重量 4905 kg　5.68 N/kg
手動			11170 N	2.27 N/kg

走行テストの方法と結果

前照灯

	右	左
取付高さ	すれ違い灯 89.0 cm	90.0 cm
光軸 下	8.5 cm	8.8 cm
光軸 左・右	0.5 cm	3.1 cm
光度 主×100	*** cd	*** cd
光度 副×100	176 cd	215 cd

前部霧灯 ×100 ------ cd	警音器 聴感・テスタ 98 デシベル
速度計の誤差 +・− 1.5 km/h	定常走行騒音 聴感・テスタ 良好 デシベル
指示針の振れ ------ km/h	排気騒音 聴感・テスタ 良好 デシベル
速度表示灯の誤差 +・− ------ km/h	C O ------ %
タイヤの振れ 良・否	H C 4～・2～・特殊 ------ ppm
サイド・スリップ 内・アウト 0.7 mm	黒煙・粒子状物質 視認・テスタ 0.01 m⁻¹

● 目視等による検査

構造	① 最低地上高	レ	③ 最小回転半径	レ
	② 最大安定傾斜角度	レ		
装置	① 原動機及び動力伝達装置	レ	⑪ 騒音防止装置	レ
	② 走行装置	レ	⑫ ばい煙等の発散防止装置	レ
	③ 操縦装置	レ	⑬ 灯火装置及び反射器	レ
	④ 制動装置	レ	⑭ 警報装置	レ
	⑤ 緩衝装置	レ	⑮ 指示装置	レ
	⑥ 燃料装置及び電気装置	レ	⑯ 視野を確保する装置	レ
	⑦ 車枠及び車体	レ	⑰ 走行距離計その他の計器	レ
	⑧ 連結装置	／	⑱ 防火装置	／
	⑨ 乗車装置及び物品積載装置	レ	⑲ 内圧容器及びその附属装置	レ
	⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス	レ	⑳ その他	レ

黒煙の視認は空ぶかし実施による

1回目	2回目	3回目
0.009 m⁻¹	------ m⁻¹	------ m⁻¹

● 自動車検査証、抹消登録証明書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名	型式	乗車定員	最大積載量
普通・小型・軽・大特	貨物	自家用・事業用	バン	いすゞ	TKG-FRR90S2	2 人	3000 kg

車両重量	車両総重量	原動機の型式	長さ	幅	高さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	その他
4850 kg	7960 kg	4HK1	830 cm	249 cm	352 cm	5.19 kw	ガソリン・軽油・LPG・CNG・その他	燃料タンク 1 個 200L

● 依頼者の氏名等

受付年月日	6 年 7 月 6 日
依頼者の氏名又は名称及び住所	[redacted]

（依頼者の依頼事項）
オイル点検

（備考）BJ 702032

受入　中間　[redacted]　作業者　[redacted]

初度登録年月又は初度検査年月	26 年 8 月
検査の年月日	6 年 7 月 7 日
自動車検査員の氏名	[redacted]
保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	1576
保安基準適合標章交付	有 ・ 無
限定保安基準適合証の番号	------

[ ] は様式に定められていない項目を示す。

令和3年　改正A3

7.8.7

型式 211001 S-150B

点検整備記録簿
特定整備記録簿（写）

● 点検の結果及び整備の概要
12ヶ月定期点検

3（　　）
12（　　＋　　）
（☆印は3ヶ月2,000km以下の走行距離によって省略できる項目）

点検良好	良 レ	交換	交 X	調整	調 A	清掃	清 C	省略	省 P
特定整備	特 ○	修理	修 △	締付	締 T	給油(水)	給 L	該当なし	／

型式指定・類別区分番号
オーダー・ナンバー
次回点検年月日　　年　月　日

[redacted]

車台番号 FRR90 -7065490

事業用自動車等・別表第3

注 点検整備記録簿は法令により二年間携行保存することとなっておりますが、生涯記録簿として長期間携行保存してください。

■ステアリング装置

レ	ハンドルの操作具合 ／ ハンドルの遊び、がた　レ
レ	ステアリング・ギヤ・ボックスのオイルの漏れ／ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み　レ
レ	☆ロッド、アーム類の緩み、がた、損傷
レ	ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷
レ	☆ステアリング・ナックルの連結部のがた／ホイール・アライメント　レ
／	パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷／パワー・ステアリングのオイルの漏れ☆　レ
レ	☆パワー・ステアリングのオイルの量／パワー・ステアリングの取付けの緩み　レ

■ブレーキ装置

レ	ブレーキ・ペダルの遊び／ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間　レ
レ	ブレーキの効き具合
レ	パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ(ホイール・パークの作動)
レ	パーキング・ブレーキの効き具合
レ	ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態／ブレーキ液の量　X
レ	ブレーキ・マスタ・シリンダの機能、摩耗、損傷
⊗	ブレーキ・ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷
／	ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷
／	ブレーキ・チャンバのロッドのストローク／ブレーキ・チャンバの機能　／
レ	ブレーキ・バルブ、クイック・レリーズ・バルブ、リレー・バルブの機能
レ	ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
レ	ブレーキ倍力装置の油密、気密、チェック・バルブ、リレー・バルブの機能
／	ブレーキ・カムの摩耗／ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間　A
C	☆ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗／ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷　C
C	ブレーキのバック・プレートの状態／ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間☆　／
／	☆ブレーキ・パッドの摩耗／ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷　／
レ	センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
レ	センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
レ	センタ・ブレーキのライニングの摩耗／センタ・ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷　レ
	二重安全ブレーキ機構の機能

■走行装置

A	☆タイヤの空気圧 ／ タイヤの亀裂、損傷☆　レ
	☆タイヤの溝の深さ、異常摩耗／スペア・タイヤの空気圧　レ
T	ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み　T ／ ホイール・ナット、ホイール・ボルトの摩傷　※　／
レ	リム、サイド・リング、ディスク・ホイールの損傷
⊗	☆フロント・ホイール・ベアリングのがた／リヤ・ホイール・ベアリングのがた　⊗

■サスペンション

レ	リーフ・スプリングの損傷
レ	リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付部の緩み、損傷
レ	リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部のがた
／	コイル・スプリングの損傷
／	コイル・サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた
／	コイル・サスペンション各部の損傷／エア・サスペンションのエア漏れ　／
／	☆エア・サスペンションのベローズの損傷
／	☆エア・サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷
／	エア・サスペンションのレベリング・バルブの機能
レ	ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ

■動力伝達装置

レ	クラッチ・ペダルの遊び
A	クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間　A
レ	クラッチの作用 ／ クラッチ液の量　レ
レ	☆トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ／トランスミッション、トランスファのオイルの量☆　レ
レ	☆プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み
／	ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン部のがた
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のがた
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのセンタ・ベアリングのがた
レ	☆デファレンシャルのオイル漏れ／デファレンシャルのオイル量☆　レ

■電気装置

／	☆スパーク・プラグの状態（白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可）
／	点火時期 ／ディストリビュータのキャップの状態　／
レ	バッテリのターミナル部の緩み、腐食／電気配線の接続部の緩み、損傷　レ

■エンジン

レ	低速、加速の状態 ／ 排気ガスの色　レ
C	CO、HCの濃度／エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷☆　C
レ	シリンダ・ヘッド、マニホールド各部の締付状態
レ	エンジン・オイルの漏れ ／ 燃料漏れ　レ
レ	ファン・ベルトの緩み、損傷／冷却水の漏れ　T

■ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置

レ	メタリング・バルブの状態／ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷　レ
／	燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷
／	チャコール・キャニスタの詰まり、損傷
／	燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能
レ	触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
／	二次空気供給装置の機能／排気ガス再循環装置の機能　レ
／	減速時排気ガス減少装置の機能
レ	一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態

■附属装置等

レ	ホーンの作用 ／ ワイパの作用　X
レ	ウインド・ウォッシャの作用 ／ デフロスタの作用　レ
レ	ハンドル・ロック装置の作用
レ	☆エキゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食
レ	☆遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食
レ	マフラの機能 ／ エア・タンクの凝水　レ
レ	エア・コンプレッサの機能／プレッシャ・レギュレータ、アンローダ・バルブの機能　レ
／	非常口の扉の機能／フレーム、ボディーの緩み、損傷　レ
／	連結装置のカプラの機能、損傷
／	連結装置のピントル・フックの摩耗、亀裂、損傷
レ	◎シート・ベルトの損傷、作用　L
／	開扉発車防止装置の機能／シャシ各部の給油脂状態　L
／	※スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷
／	※スペアタイヤの取付状態
／	※ツールボックスの取付部の緩み及び損傷

■高圧ガスを燃料とする燃料装置等

／	パイプ・ジョイント部のガス漏れ、損傷／ガス・ボンベ取付部の緩み、損傷　／

日常点検

✓	バッテリ液の量 ／ 冷却水の量　レ
レ	エンジン・オイルの量／エンジンのかかり具合、異音　レ
レ	ヘッド・ランプ、ストップ・ランプ、ウインカ・ランプ等の点灯、汚れ、損傷 ／ ※ディスク・ホイールの取付状態　／

■車載式故障診断装置点検

レ	OBDの診断の結果

その他の点検・整備項目

厳しい使われ方をする車の点検項目

ステアリング・ギヤ・ボックスの機能	レ
ナックル、かじ取り車輪の旋回動作	レ
シャシばね、ショック・アブソーバの緩衝能力	レ
トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能	レ
プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの回転時の状態	レ
エンジンの運転状態	レ

特殊な構造及び装置の点検項目

ターボチャージャの回転具合	レ
過給機の損傷及び取付状態	レ

交換部品等

交換部品等	数量
シールキット	1
ハブグリス	4
カップキット	1
ブレーキオイル	3
Pr ベアリング	1
カイハ°ゴム	3
ラートリンジグリス	1

メンテナンスに関するアドバイス

●CO、HC濃度（アイドリング時）

CO	%
HC	ppm

●タイヤの溝の深さ（1.6mm以上）

	左	右
前輪	前 11 mm	前 12 mm
	後 mm	後 mm
後輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

	左	右
前輪	前 7.5 mm	前 7.5 mm
	後 mm	後 mm
後輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm

[redacted]

点検年月日　5年 7月 15日
整備完了年月日　年 月 日
点検（整備）時の総走行距離　km

使用者用

※印の項目は、車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車が対象。
◎印の点検は、人の運送の用に供するバス、タクシー、レンタカー等が対象。
／ ステアリング装置、ブレーキ装置、走行装置、サスペンション、動力伝達装置、電気装置、エンジン、ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置、附属装置等、高圧ガスを燃料とする燃料装置等の各点検項目は法に定められた定期点検項目を示します。　OBDとは車載式故障診断装置を示します。

● 検査機器等による検査

制動力

前軸	前前軸	右 8200 N	軸重	左右差 480 N
		左 7720 N	2495 kg	0.20 N/kg
	前後軸	右	軸重	左右差
		左	kg	
後軸	後前軸	右	軸重 kg	左右差
		左		
	後後軸	右 6950 N	軸重 2410 kg	左右差 1130 N
		左 8080 N	6.23 N/kg	0.47 N/kg
計		30950 N	車両重量	6.30 N/kg
手動		10740 N	4905 kg	2.18 N/kg

走行テスト等の方法と結果

前照灯

		右	左
取付高さ		すれ違い灯 90.0 cm	89.0 cm
光度	光軸	下 4.2 cm	下 6.7 cm
		左・右 4.7 cm	左・右 10.1 cm
	光度	主×100 cd	主×100 cd
		副×100 155 cd	副×100 164 cd

前部霧灯	警音器
×100 cd	聴感・テスタ 97 デシベル
速度計の誤差	定常走行騒音
＋・－ 12 km/h	聴感・テスタ 良好 デシベル
指示針の振れ	排気騒音
km/h	聴感・テスタ 良好 デシベル
速度表示灯の誤差	C　O
＋・－ km/h	%
タイヤの振れ	H　C
良・否	4～・2～・特殊 ppm
サイド・スリップ	黒煙・粒子状物質
イン・アウト 1.7 mm	視認・テスタ 0.17 % m

● 目視等による検査

構造	① 最低地上高	レ	③ 最小回転半径	レ
	② 最大安定傾斜角度	レ		
装置	① 原動機及び動力伝達装置	レ	⑪ 騒音防止装置	レ
	② 走行装置	レ	⑫ ばい煙等の発散防止装置	レ
	③ 操縦装置	レ	⑬ 灯火装置及び反射器	レ
	④ 制動装置	レ	⑭ 警報装置	レ
	⑤ 緩衝装置	レ	⑮ 指示装置	レ
	⑥ 燃料装置及び電気装置	レ	⑯ 視野を確保する装置	レ
	⑦ 車枠及び車体	レ	⑰ 走行距離計その他の計器	レ
	⑧ 連結装置	／	⑱ 防火装置	／
	⑨ 乗車装置及び物品積載装置	レ	⑲ 内圧容器及びその附属装置	レ
	⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス	✓	⑳ その他	レ

黒煙の視認は空ぶかし実施による

1回目	2回目	3回目
0.165 % m	%	%
	m⁻¹	m⁻¹

● 自動車検査証、抹消登録証明書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名	型式	乗車定員	最大積載量
普通・小型・軽・大特	貨物	自家用・事業用	バン	いすゞ	TKG-FRR90S2	2 人	3000 kg

車両重量	車両総重量	原動機の型式	長さ	幅	高さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	その他
4850 kg	7960 kg	4HK1	830 cm	249 cm	352 cm	5.19 kw	ガソリン・軽油 LPG・CNG・その他	燃料タンク 1 個 200L

● 依頼者の氏名等

受付年月日	5 年 7 月 15 日
依頼者の氏名又は名称及び住所	[redacted]

（依頼者の依頼事項）
冬部点検

（備考）BJ426863

受入　中間 [redacted]　作業者 [redacted]

初度登録年月又は初度検査年月
26 年 8 月
検査の年月日
5 年 7 月 16 日
自動車検査員の氏名 [redacted]

保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	保安基準適合標章交付
1749	有・無

限定保安基準適合証の番号

□は様式に定められていない項目を示す。

6.8.17

型式 211001 S-150B

点検整備記録簿
特定整備記録簿（写）

● 点検の結果及び整備の概要
12ヶ月定期点検

3（　　）
12（　　＋　　）
（☆印は3ヶ月2,000km以下の走行距離によって省略できる項目）

点検良好	良 レ	交換	交 ×	調整	調 A	清掃	清 C	省略	省 P
特定整備	特 ○	修理	修 △	締付	締 T	給油(水)	給 L	該当なし	／

型式指定・類別区分番号
オーダー・ナンバー
次回点検年月日　　年　　月　　日

[redacted]

車台番号 FRR90 -7065490

事業用自動車等・別表第3

注 点検整備記録簿は法令により二年間携行保存することとなっておりますが、生涯記録簿として長期間携行保存してください。

■ステアリング装置
- ハンドルの操作具合 ／ ハンドルの遊び、がた
- ステアリング・ギヤ・ボックスのオイルの漏れ／ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み
- ☆ロッド、アーム類の緩み、がた、損傷
- ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷
- ☆ステアリング・ナックルの連結部のがた／ホイール・アライメント
- パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷／パワー・ステアリングのオイルの漏れ☆
- ☆パワー・ステアリングのオイルの量／パワー・ステアリングの取付けの緩み

■ブレーキ装置
- ブレーキ・ペダルの遊び／ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間
- ブレーキの効き具合
- パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ（ホイール・パークの作動）
- パーキング・ブレーキの効き具合
- ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態／ブレーキ液の量
- ブレーキ・マスタ・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・チャンバのロッドのストローク／ブレーキ・チャンバの機能
- ブレーキ・バルブ、クイック・レリーズ・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
- ブレーキ倍力装置の油密、気密、チェック・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ・カムの摩耗／ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
- ☆ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗／ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷
- ブレーキのバック・プレートの取付／ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間☆
- ☆ブレーキ・パッドの摩耗／ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷
- センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
- センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
- センタ・ブレーキのライニングの摩耗／センタ・ブレーキ・ドラムの摩耗・損傷
- 二重安全ブレーキ機構の機能

■走行装置
- ☆タイヤの空気圧 ／ タイヤの亀裂、損傷☆
- ☆タイヤの溝の深さ、異常摩耗／スペア・タイヤの空気圧
- ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み ／ ホイール・ナット、ホイール・ボルトの損傷 ※
- リム、サイド・リング、ディスク・ホイールの損傷
- ☆フロント・ホイール・ベアリングのがた／リヤ・ホイール・ベアリングのがた

■サスペンション
- リーフ・スプリングの損傷
- リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付部の緩み、損傷
- リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部のがた
- コイル・スプリングの損傷
- コイル・サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた
- コイル・サスペンション各部の損傷／エア・サスペンションのエア漏れ
- ☆エア・サスペンションのベローズの損傷
- ☆エア・サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷
- エア・サスペンションのレベリング・バルブの機能
- ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ

■動力伝達装置
- クラッチ・ペダルの遊び
- クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間
- クラッチの作用 ／ クラッチ液の量
- ☆トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ／トランスミッション、トランスファのオイルの量☆
- ☆プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み
- ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン部のがた
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のがた
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのセンタ・ベアリングのがた
- ☆デファレンシャルのオイル漏れ／デファレンシャルのオイル量

■電気装置
- ☆スパーク・プラグの状態（白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可）
- 点火時期 ／ディストリビュータのキャップの状態
- バッテリのターミナル部の緩み、腐食／電気配線の接続部の緩み、損傷

■エンジン
- 低速、加速の状態 ／ 排気ガスの色
- CO、HCの濃度／エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷☆
- シリンダ・ヘッド、マニホールド各部の締付状態
- エンジン・オイルの漏れ ／ 燃料漏れ
- ファン・ベルトの緩み、損傷／冷却水の漏れ

■ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置
- メタリング・バルブの状態／ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷
- チャコール・キャニスタの詰まり、損傷
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能
- 触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
- 二次空気供給装置の機能／排気ガス再循環装置の機能
- 減速時排気ガス減少装置の機能
- 一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態

■附属装置等
- ホーンの作用 ／ ワイパの作用
- ウインド・ウォッシャの作用 ／ デフロスタの作用
- ハンドル・ロック装置の作用
- ☆エキゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食
- ☆遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食
- マフラの機能 ／ エア・タンクの凝水
- エア・コンプレッサの機能／プレッシャ・レギュレータ、アンローダ・バルブの機能
- 非常口の扉の機能／フレーム、ボディーの緩み、損傷
- 連結装置のカプラの機能、損傷
- 連結装置のピントル・フックの摩耗、亀裂、損傷
- ◎シート・ベルトの損傷、作用
- 開扉発車防止装置の機能／シャシ各部の給油脂状態
- ※スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷
- ※スペアタイヤの取付状態
- ※ツールボックスの取付部の緩み及び損傷

■高圧ガスを燃料とする燃料装置等
- パイプ・ジョイント部のガス漏れ、損傷／ガス・ボンベ取付部の緩み、損傷

日常点検
- バッテリ液の量 ／ 冷却水の量
- エンジン・オイルの量／エンジンのかかり具合、異音
- ヘッドライト、ウインカ・ランプ等の点灯、損傷 ／ ※ディスク・ホイールの取付状態

■車載式故障診断装置点検
- OBDの診断の結果

その他の点検・整備項目

厳しい使われ方をする車の点検項目
- ステアリング・ギヤ・ボックスの機能
- ナックル、かじ取り車輪の旋回動作
- シャシばね、ショック・アブソーバの緩衝能力
- トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの回転時の状態
- エンジンの運転状態

特殊な構造及び装置の点検項目
- ターボチャージャのロータの回転具合

交換部品等	数量
エンジンオイル	6
デフオイル	6
フューエルフィルター	2
PCVエレメント	1
カートリッジグリス	1
ブレーキオイル	2
リヤハブアウターシール	2
ファンベルト	1
エアコンベルト	1

メンテナンスに関するアドバイス

ワイパーゴム	3
左後 サブスプリング	2
右後 Uボルト	2

●CO、HC濃度（アイドリング時）

CO	———	%
HC	———	ppm

●タイヤの溝の深さ（1.6mm以上）

		左	右
前輪	前	12 mm	12 mm
	後	mm	mm
後輪	前	mm	mm
	後	mm	mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

		左	右
前輪	前	5/7 mm	5/7 mm
	後	——— mm	——— mm
後輪	前	mm	mm
	後	mm	mm

[redacted]

点検年月日　4年　7月　30日
整備完了年月日　　年　　月　　日
点検（整備）時の総走行距離　　km

使用者用

※印の項目は、車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車が対象。
◎印の点検は、人の運送の用に供するバス、タクシー、レンタカー等が対象。
／ ステアリング装置、ブレーキ装置、走行装置、サスペンション、動力伝達装置、電気装置、エンジン、ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置、附属装置等、高圧ガスを燃料とする燃料装置等の各点検項目は法に定められた定期点検項目を示します。
OBDとは車載式故障診断装置を示します。

● 検査機器等による検査

制動力

			軸重	左右差
前軸	前前軸	右 8260 N	2495 kg	890 N
		左 7370 N		0.36 N/kg
	前後軸	右 ———	——— kg	———
		左 ———		———
後軸	後前軸	右 ———	——— kg	———
		左 ———	———	———
	後後軸	右 5590 N	2410 kg	1120 N
		左 6710 N	5.10 N/kg	0.47 N/kg
計		27930 N	車両重量 4905 kg	5.69 N/kg
手動		11100 N		2.26 N/kg

走行テスト等の方法と結果

前照灯

	右	左
取付高さ	すれ違い灯 91.0 cm	90.0 cm
光軸	下 9.7 cm	下 4.9 cm
	左・右 6.6 cm	左・右 8.0 cm
光度	主×100 **** cd	主×100 **** cd
	副×100 120 cd	副×100 242 cd

前部霧灯 ×100 ——— cd	警音器 聴感・テスタ 97 デシベル
速度計の誤差 ⊕ 16 km/h	定常走行騒音 聴感・テスタ 良好 デシベル
指示計の振れ ——— km/h	排気騒音 聴感・テスタ 良好 デシベル
速度表示灯の誤差 ＋・－ ——— km/h	C O ——— %
タイヤの振れ 良・否	H C 4サイクル・特殊 ——— ppm
サイド・スリップ ○・アウト 2.3 mm	黒煙・粒子状物質 視認・テスタ ——— %

● 目視等による検査

構造	① 最低地上高	✓	③ 最小回転半径	✓
	② 最大安定傾斜角度	✓		
装置	① 原動機及び動力伝達装置	✓	⑪ 騒音防止装置	✓
	② 走行装置	✓	⑫ ばい煙等の発散防止装置	✓
	③ 操縦装置	✓	⑬ 灯火装置及び反射器	✓
	④ 制動装置	✓	⑭ 警報装置	✓
	⑤ 緩衝装置	✓	⑮ 指示装置	✓
	⑥ 燃料装置及び電気装置	✓	⑯ 視野を確保する装置	✓
	⑦ 車枠及び車体	✓	⑰ 走行距離計その他の計器	✓
	⑧ 連結装置	／	⑱ 防火装置	／
	⑨ 乗車装置及び物品積載装置	✓	⑲ 内圧容器及びその附属装置	✓
	⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス	✓	⑳ その他	✓

黒煙の視認は空ぶかし実施による

1回目	2回目	3回目
0.179 m⁻¹	——— m⁻¹	——— m⁻¹

● 自動車検査証、抹消登録証明書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名	型式	乗車定員	最大積載量
普通・小型・軽・大特	貨物	自家用・事業用	バン	いすゞ	TKG-FRR90S2	2 人	3000 kg

車両重量	車両総重量	原動機の型式	長さ	幅	高さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	その他
4850 kg	7960 kg	4HK1	830 cm	249 cm	352 cm	5.19 kw	ガソリン・軽油・LPG・CNG・その他	燃料タンク 1個 200L

● 依頼者の氏名等

受付年月日	4年 7月 30日
依頼者の氏名又は名称及び住所	[redacted]

(依頼者の依頼事項)
Mオイル
Rオイル　交換

初度登録年月又は初度検査年月　26年 8月
検査の年月日　4年 7月 31日
自動車検査員の氏名 [redacted]

保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	保安基準適合標章交付
1885	有・無

限定保安基準適合証の番号

(備考) BJ368366

受入　中間 [redacted]　作業者 [redacted]

[ ] は様式に定められていない項目を示す。

令和3年　改正A3

5-8.7

型式 211001 S-150B

点検整備記録簿
分解整備記録簿（写）

● 点検の結果及び整備の概要
12ヶ月定期点検

3（　　）
12（　　＋　　）
（☆印は3ヶ月2,000km以下の走行距離によって省略できる項目）

点検良好	良 レ	交換	交 ×	調整	調 A	清掃	清 C	省略	省 P
分解	分 ○	修理	修 △	締付	締 T	給油(水)	給 L	該当なし	／

型式指定・類別区分番号
オーダー・ナンバー
次回点検年月日　　年　　月　　日

[redacted]

車台番号 FRR90 -7065490

事業用自動車等・別表第3

注 点検整備記録簿は法令により二年間携行保存することとなっておりますが、生涯記録簿として長期間携行保存してください。

■ステアリング装置
- ハンドルの操作具合 ／ ハンドルの遊び、がた　レ
- ステアリング・ギヤ・ボックスのオイルの漏れ／ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み　レ
- ☆ロッド、アーム類の緩み、がた、損傷
- ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷
- ☆ステアリング・ナックルの連結部のがた／ホイール・アライメント　レ
- パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷／パワー・ステアリングのオイルの漏れ☆　レ
- ☆パワー・ステアリングのオイルの量／パワー・ステアリングの取付けの緩み　レ

■ブレーキ装置
- ブレーキ・ペダルの遊び／ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間　レ
- ブレーキの効き具合
- パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ（ホイール・パークの作動）
- パーキング・ブレーキの効き具合
- ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態／ブレーキ液の量
- ブレーキ・マスタ・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・チャンバのロッドのストローク／ブレーキ・チャンバの機能　／
- ブレーキ・バルブ、クイック・レリーズ・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
- ブレーキ倍力装置の油密、気密、チェック・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ・カムの摩耗／ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間　A
- ☆ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗／ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷　C
- ブレーキのバック・プレートの状態／ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間☆　／
- ☆ブレーキ・パッドの摩耗／ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷　／
- センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
- センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間　A
- センタ・ブレーキのライニングの摩耗／センタ・ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷　レ
- 二重安全ブレーキ機構の機能

■走行装置
- ☆タイヤの空気圧 ／ タイヤの亀裂、損傷☆　A
- ☆タイヤの溝の深さ、異常摩耗／スペア・タイヤの空気圧　レ
- ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み ／ ホイール・ナット、ホイール・ボルトの損傷 ※　／

- リム、サイド・リング、ディスク・ホイールの損傷　レ
- ☆フロント・ホイール・ベアリングのがた／リヤ・ホイール・ベアリングのがた　×

■サスペンション
- リーフ・スプリングの損傷
- リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付部の緩み、損傷　T
- リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部のがた　レ
- コイル・スプリングの損傷
- コイル・サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた
- コイル・サスペンション各部の損傷／エア・サスペンションのエア漏れ　／
- ☆エア・サスペンションのベローズの損傷
- ☆エア・サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷
- エア・サスペンションのレベリング・バルブの機能
- ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ　レ

■動力伝達装置
- クラッチ・ペダルの遊び
- クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間
- クラッチの作用 ／ クラッチ液の量　レ
- ☆トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ／トランスミッション、トランスファのオイル量☆　×
- ☆プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み
- ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン部のがた
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のがた
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのセンタ・ベアリングのがた
- ☆デファレンシャルのオイル漏れ／デファレンシャルのオイル量☆　K

■電気装置
- ☆スパーク・プラグの状態（白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可）
- ・点火時期 ／ディストリビュータのキャップの状態　／
- バッテリのターミナル部の緩み、腐食／電気配線の接続部の緩み、損傷　レ

■エンジン
- 低速、加速の状態 ／ 排気ガスの色　レ
- CO、HCの濃度／エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷☆　C
- シリンダ・ヘッド、マニホールド各部の締付状態
- エンジン・オイルの漏れ ／ 燃料漏れ　レ

- ファン・ベルトの緩み、損傷／冷却水の漏れ　レ

■ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置
- メタリング・バルブの状態／ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷　レ
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷
- チャコール・キャニスタの詰まり、損傷
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能
- 触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
- 二次空気供給装置の機能／排気ガス再循環装置の機能　レ
- 減速時排気ガス減少装置の機能
- 一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態

■附属装置等
- ホーンの作用 ／ ワイパーの作用　×
- ウインド・ウォッシャの作用 ／ デフロスタの作用　レ
- ハンドル・ロック装置の作用
- ☆エキゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食　レ
- ☆遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食　レ
- マフラの機能 ／ エア・タンクの凝水　レ
- エア・コンプレッサの機能／プレッシャ・レギュレータ、アンローダ・バルブの機能　レ
- 非常口の扉の機能／フレーム、ボディーの緩み、損傷　レ
- 連結装置のカプラの機能、損傷
- 連結装置のピントル・フックの摩耗、亀裂、損傷
- ◎シート・ベルトの損傷、作用　レ
- 開扉発車防止装置の機能／シャシ各部の給油脂状態　L
- ※スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷
- ※スペアタイヤの取付状態
- ※ツールボックスの取付部の緩み及び損傷

■高圧ガスを燃料とする燃料装置等
- パイプ・ジョイント部のガス漏れ、損傷／ガス・ボンベ取付部の緩み、損傷　／

日常点検
- バッテリ液の量 ／ 冷却水の量　レ
- エンジン・オイルの量／エンジンのかかり具合、異音　レ
- ヘッド・ランプ、ストップ・ランプ、ウインカ・ランプ等の点灯、汚れ、損傷 ／ ※ディスク・ホイールの取付状態　／

その他の点検項目
積載ステッカー	×
左サイドリフレクター	×
サンフレヤー	×

厳しい使われ方をする車の点検項目
ステアリング・ギヤ・ボックスの機能	レ
ナックル、かじ取り車輪の旋回動作	レ
シャシばね、ショック・アブソーバの緩衝能力	レ
トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能	レ
プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの回転時の状態	レ
エンジンの運転状態	レ

特殊な構造及び装置の点検項目
ターボチャージャロータの回転具合	レ

交換部品等
	数量
シールキット	1
ハブグリス	4
ブレーキオイル	2
フューエルエレメント	2
Pcvエレメント	1
ワイパーゴム	3
ミッションオイル	6
デフオイル	5
カットハンドグリス	1
積載ステッカー	1
黄リフレクター	1
サンフレヤー	1
アクシルカバーブ	2
リヤサススプリング	2

メンテナンスに関するアドバイス
サイドブレーキワイヤー	1
インジェクタークリーナー	1

●CO、HC濃度（アイドリング時）

CO	%
HC	ppm

●タイヤの溝の深さ（1.6mm以上）

	左	右
前輪	前 [redacted] mm	前 [redacted] mm
	後 mm	後 mm
後輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

	左	右
前輪	前 [redacted] mm	前 [redacted] mm
	後 mm	後 mm
後輪	前 mm	前 mm
	後 mm	後 mm

[redacted]

点検年月日　3年 7月 22日
整備完了年月日　年 月 日
点検（整備）時の総走行距離　km

使用者用

※印の項目は、車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車が対象。
◎印の点検は、人の運送の用に供するバス、タクシー、レンタカー等が対象。
／ ステアリング装置、ブレーキ装置、走行装置、サスペンション、動力伝達装置、電気装置、エンジン、ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置、附属装置等、高圧ガスを燃料とする燃料装置等の各点検項目は法に定められた定期点検項目を示します。

● 検査機器等による検査

制動力

			左右差
前軸 前前軸	右	8570 N	1270 N
	左	7300 N	0.51 N/kg
前軸 前後軸	右	———	———
	左	———	———
後軸 後前軸	右	———	———
	左	———	———
後軸 後後軸	右	6990 N	80 N
	左	6910 N	0.04 N/kg

		軸重	左右差
前軸 前前軸		2495 kg	0.51 N/kg
前軸 前後軸		——— kg	———
後軸 後前軸		——— kg	———
後軸 後後軸		2410 kg	80 N
		5.76 N/kg	0.04 N/kg

計	29770 N	車両重量 4905 kg
		6.06 N/kg
手動	11460 N	2.33 N/kg

走行テスト等の方法と結果

前照灯

	右	左
取付高さ	すれ違い灯 91.0 cm	92.0 cm
光軸	下 11.4 cm	下 4.8 cm
	左・右 2.8 cm	右・右 7.2 cm
光度	主×100 **** cd	主×100 **** cd
	副×100 131 cd	副×100 186 cd

前部霧灯	警音器
×100 ——— cd	聴感・テスタ 95 デシベル
速度計の誤差	定常走行騒音
⊕・− 2.5 km/h	聴感・テスタ 良好 デシベル
指示針の振れ	排気騒音
km/h	聴感・テスタ 良好 デシベル
速度表示灯の誤差	C O
＋・− ——— km/h	——— %
タイヤの振れ	H C
良・否	4〜・2〜・特殊 ——— ppm
サイド・スリップ	黒煙・粒子状物質
内・アウト 0.3 mm	視認・テスタ % 0.27 m⁻¹

● 目視等による検査

構造	① 最低地上高	レ	③ 最小回転半径	レ
	② 最大安定傾斜角度	レ		
装置	① 原動機及び動力伝達装置	レ	⑪ 騒音防止装置	レ
	② 走行装置	レ	⑫ ばい煙等の発散防止装置	レ
	③ 操縦装置	レ	⑬ 灯火装置及び反射器	レ
	④ 制動装置	レ	⑭ 警報装置	レ
	⑤ 緩衝装置	レ	⑮ 指示装置	レ
	⑥ 燃料装置及び電気装置	レ	⑯ 視野を確保する装置	レ
	⑦ 車枠及び車体	レ	⑰ 走行距離計その他の計器	レ
	⑧ 連結装置	／	⑱ 防火装置	／
	⑨ 乗車装置及び物品積載装置	レ	⑲ 内圧容器及びその附属装置	レ
	⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス	レ	⑳ その他	レ

黒煙の視認は空ぶかし実施による

1回目	2回目	3回目
0.273 m⁻¹	——— m⁻¹	——— m⁻¹

● 自動車検査証、抹消登録証明書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名	型式	乗車定員	最大積載量
普通・小型・軽・大特	貨物	自家用・事業用	バン	いすゞ	TKG-FRR90S2	2 人	3000 kg

車両重量	車両総重量	原動機の型式	長さ	幅	高さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	その他
4850 kg	7960 kg	4HK1	830 cm	249 cm	352 cm	5.19 kw	ガソリン・軽油・LPG・CNG・その他	燃料タンク 1 個 200L

● 依頼者の氏名等

受付年月日	3 年 7 月 22 日
依頼者の氏名又は名称及び住所	[redacted]

（依頼者の依頼事項）
ミッション デフ 脱着

（備考）BI 709832

入庫 [redacted]　中間　作業者 [redacted]

初度登録年月又は初度検査年月
26 年 8 月
検査の年月日
3 年 7 月 23 日
自動車検査員の氏名 [redacted]

保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	保安基準適合標章交付
1806	(有) 無

限定保安基準適合証の番号

□ は様式に定められていない項目を示す。

4.8.7

点検整備記録簿
分解整備記録簿（写）

● 点検の結果及び整備の概要
12ヶ月定期点検

3（　　）
12（　　＋　　）
（☆印は3ヶ月2,000km以下の走行距離によって省略できる項目）

点検良好	良 レ	交換	交 ×	調整	調 A	清掃	清 C	省略	省 P
分解	分 ○	修理	修 △	締付	締 T	給油(水)	給 L	該当なし	／

型式指定・類別区分番号
オーダー・ナンバー
次回点検年月日　　年　　月　　日

[redacted]

車台番号 FRR90 -7065490

事業用自動車等・別表第3

注 点検整備記録簿は法令により二年間携行保存することとなっておりますが、生涯記録簿として長期間携行保存してください。

■ステアリング装置
- ハンドルの操作具合 ／ ハンドルの遊び、がた
- ステアリング・ギヤ・ボックスのオイルの漏れ／ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み
- ☆ロッド、アーム類の緩み、がた、損傷
- ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷
- ☆ステアリング・ナックルの連結部のがた／ホイール・アライメント
- パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷／パワー・ステアリングのオイルの漏れ☆
- ☆パワー・ステアリングのオイルの量／パワー・ステアリングの取付けの緩み

■ブレーキ装置
- ブレーキ・ペダルの遊び／ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間
- ブレーキの効き具合
- パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ(ホイール・パークの作動)
- パーキング・ブレーキの効き具合
- ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態／ブレーキ液の量
- ブレーキ・マスタ・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・チャンバのロッドのストローク／ブレーキ・チャンバの機能
- ブレーキ・バルブ、クイック・レリーズ・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
- ブレーキ倍力装置の油密、気密、チェック・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ・カムの摩耗／ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
- ☆ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗／ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷
- ブレーキのバック・プレートの状態／ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間☆
- ☆ブレーキ・パッドの摩耗／ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷
- センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
- センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
- センタ・ブレーキのライニングの摩耗／センタ・ブレーキ・ドラムの摩耗・損傷
- 二重安全ブレーキ機構の機能

■走行装置
- ☆タイヤの空気圧 ／ タイヤの亀裂、損傷☆
- ☆タイヤの溝の深さ、異常摩耗／スペア・タイヤの空気圧
- ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み ／ ホイール・ナット、ホイール・ボルトの損傷 ※
- リム、サイド・リング、ディスク・ホイールの損傷
- ☆フロント・ホイール・ベアリングのがた／リヤ・ホイール・ベアリングのがた

■サスペンション
- リーフ・スプリングの損傷
- リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付部の緩み、損傷
- リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部のがた
- コイル・スプリングの損傷
- コイル・サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた
- コイル・サスペンション各部の損傷／エア・サスペンションのエア漏れ
- ☆エア・サスペンションのベローズの損傷
- ☆エア・サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷
- エア・サスペンションのレベリング・バルブの機能
- ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ

■動力伝達装置
- クラッチ・ペダルの遊び
- クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間
- クラッチの作用 ／ クラッチ液の量
- ☆トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ／トランスミッション、トランスファのオイルの量☆
- ☆プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み
- ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン部のがた
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のがた
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのセンタ・ベアリングのがた
- ☆デファレンシャルのオイル漏れ／デファレンシャルのオイル量☆

■電気装置
- ☆スパーク・プラグの状態（白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可）
- 点火時期 ／ディストリビュータのキャップの状態
- バッテリのターミナル部の緩み、腐食／電気配線の接続部の緩み、損傷

■エンジン
- 低速、加速の状態 ／ 排気ガスの色
- CO、HCの濃度／エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷☆
- シリンダ・ヘッド、マニホールド各部の締付状態
- エンジン・オイルの漏れ ／ 燃料漏れ
- ファン・ベルトの緩み、損傷／冷却水の漏れ

■ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置
- メタリング・バルブの状態／ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷
- チャコール・キャニスタの詰まり、損傷
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能
- 触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
- 二次空気供給装置の機能／排気ガス再循環装置の機能
- 減速時排気ガス減少装置の機能
- 一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態

■附属装置等
- ホーンの作用 ／ ワイパの作用
- ウインド・ウォッシャの作用 ／ デフロスタの作用
- ハンドル・ロック装置の作用
- ☆エキゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食
- ☆遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食
- マフラの機能 ／ エア・タンクの凝水
- エア・コンプレッサの機能／プレッシャ・レギュレータ、アンローダ・バルブの機能
- 非常口の扉の機能／フレーム、ボディーの緩み、損傷
- 連結装置のカプラの機能、損傷
- 連結装置のピントル・フックの摩耗、亀裂、損傷
- ◎シート・ベルトの損傷、作用
- 間隙発車防止装置の機能／シャシ各部の給油脂状態
- ※スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷
- スペアタイヤの取付状態
- ※ツールボックスの取付部の緩み及び損傷

■高圧ガスを燃料とする燃料装置等
- パイプ・ジョイント部のガス漏れ、損傷／ガス・ボンベ取付部の緩み、損傷

日常点検
- バッテリ液の量 ／ 冷却水の量
- エンジン・オイルの量／エンジンのかかり具合、異音
- ヘッド・ランプ、ストップ・ランプ、ウインカ・ランプ等の点灯、汚れ、損傷 ／ ※ディスク・ホイールの取付状態

その他の点検項目

厳しい使われ方をする車の点検項目
ステアリング・ギヤ・ボックスの機能	レ
ナックル、かじ取り車輪の旋回動作	レ
シャシばね、ショック・アブソーバの緩衝能力	レ
トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能	レ
プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの回転時の状態	レ
エンジンの運転状態	レ

特殊な構造及び装置の点検項目
ターボチャージャのロータの回転具合	レ

交換部品等
交換部品等	数量
リアアウターシール	2
カムプキット	1
ブレーキオイル	3
カートリッジグリス	1
ミッションオイル	6
デフオイル	5
ワイパーゴム	3
フューエルエレメント	2
PCVエレメント	1
Vベルト	1
Aベルト(エアコン)	1

メンテナンスに関するアドバイス

●CO、HC濃度（アイドリング時）

CO	%
HC	ppm

●タイヤの溝の深さ（1.6mm以上）

	左	右
前輪 前	前 mm	前 mm
前輪 後	後 mm	後 mm
後輪 前	前 mm	前 mm
後輪 後	後 mm	後 mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

	左	右
前輪 前	前 8.8 mm	前 8.8 mm
前輪 後	後 mm	後 mm
後輪 前	前 mm	前 mm
後輪 後	後 mm	後 mm

[redacted]

点検年月日 2年 7月 11日

整備完了年月日 年 月 日

点検（整備）時の総走行距離 km

使用者用

※印の項目は、車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車が対象。
◎印の点検は、人の運送の用に供するバス、タクシー、レンタカー等が対象。
／ ステアリング装置、ブレーキ装置、走行装置、サスペンション、動力伝達装置、電気装置、エンジン、ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置、附属装置等、高圧ガスを燃料とする燃料装置等の各点検項目は法に定められた定期点検項目を示します。

● 検査機器等による検査

制動力

			軸重	左右差
前軸	前前軸	右 8120 N / 左 8070 N	2495 kg	50 N / 0.02 N/kg
	前後軸	右 ------ / 左 ------	------ kg	------
後軸	後前軸	右 ------ / 左 ------	------ kg	------
	後後軸	右 6910 N / 左 6360 N	2410 kg / 5.50 N/kg	550 N / 0.23 N/kg
計		29460 N	車両重量 4905 kg	6.00 N/kg
手動		11730 N		2.39 N/kg

走行テスト等の方法と結果

前照灯

	右	左
取付高さ	すれ違い灯 89.0 cm	89.0 cm
光軸 下	4.8 cm	6.9 cm
光軸 左・右	4.4 cm	左・否 1.0 cm
光度 主×100	**** cd	**** cd
光度 副×100	215 cd	280 cd

前部霧灯 ×100	------ cd
速度計の誤差	⊕・－ 2.6 km/h
指示針の振れ	km/h
速度表示灯の誤差	＋・－ ------ km/h
タイヤの振れ	否
サイド・スリップ	イン・アウト 1.3 mm

警音器	聴感・テスタ 96 デシベル
定常走行騒音	聴感・テスタ 良好 デシベル
排気騒音	聴感・テスタ 良好 デシベル
C O	------ %
H C	4サイクル・2サイクル・特殊 ------ ppm
黒煙・粒子状物質	視認・テスタ % 0.16 m⁻¹

● 目視等による検査

構造	① 最低地上高	V	③ 最小回転半径	V	
	② 最大安定傾斜角度	V			
装置	① 原動機及び動力伝達装置	V	⑪ 騒音防止装置	V	
	② 走行装置	V	⑫ ばい煙等の発散防止装置	V	
	③ 操縦装置	V	⑬ 灯火装置及び反射器	V	
	④ 制動装置	V	⑭ 警報装置	V	
	⑤ 緩衝装置	V	⑮ 指示装置	V	
	⑥ 燃料装置及び電気装置	V	⑯ 視野を確保する装置	V	
	⑦ 車枠及び車体	V	⑰ 走行距離計その他の計器	V	
	⑧ 連結装置	／	⑱ 防火装置	／	
	⑨ 乗車装置及び物品積載装置	V	⑲ 内圧容器及びその附属装置	V	
	⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス	V	⑳ その他	V	

黒煙の視認は空ぶかし実施による

1回目	2回目	3回目
0.162 m⁻¹	------ m⁻¹	------ m⁻¹

● 自動車検査証、抹消登録証明書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名	型式	乗車定員	最大積載量
普通・小型・軽・大特	貨物	自家用・事業用	バン	いすゞ	TKG-FRR90S2	2 人	3000 kg

車両重量	車両総重量	原動機の型式	長さ	幅	高さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	その他
4850 kg	7960 kg	4HK1	830 cm	249 cm	352 cm	5.19 L	ガソリン・軽油 LPG・CNG・その他	燃料タンク 1 個 200 L

● 依頼者の氏名等

受付年月日	2 年 7 月 11 日
依頼者の氏名又は名称及び住所	[redacted]

(依頼者の依頼事項)
ミッション デフ オイル交換

初度登録年月又は初度検査年月
26 年 8 月

検査の年月日
2 年 7 月 12 日

自動車検査員の氏名 [redacted]

保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	保安基準適合標章交付
1605	(有)・無

限定保安基準適合証の番号

(備考) A78/16669

受入 中間 作業者 [redacted]

[redacted]

□ は様式に定められていない項目を示す。

平成30年 改正A3

3.8.7

型式 181001 S-141B

点検整備記録簿
分解整備記録簿（写）

● 点検の結果及び整備の概要
12ヶ月定期点検

3（　　）
12（　　＋　　）
（☆印は3ヶ月2,000km以下の走行距離によって省略できる項目）

点検良好	良 レ	交換	交 ×	調整	調 A	清掃	清 C	省略	省 P
分解	分 ○	修理	修 △	締付	締 T	給油(水)	給 L	該当なし	／

型式指定・類別区分番号
オーダー・ナンバー
次回点検年月日　　年　月　日

[redacted]

車台番号 FRR90 -7065490

事業用自動車等・別表第3

注 点検整備記録簿は法令により二年間携行保存することとなっておりますが、生涯記録簿として長期間携行保存してください。

■ステアリング装置
- ハンドルの操作具合 ／ ハンドルの遊び、がた　レ
- ステアリング・ギヤ・ボックスのオイルの漏れ／ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み　レ
- ☆ロッド、アーム類の緩み、がた、損傷
- ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷
- ☆ステアリング・ナックルの連結部のがた／ホイール・アライメント　レ
- パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷／パワー・ステアリングのオイルの漏れ☆　レ
- ☆パワー・ステアリングのオイルの量／パワー・ステアリングの取付けの緩み　レ

■ブレーキ装置
- ブレーキ・ペダルの遊び／ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間　レ
- ブレーキの効き具合
- パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ（ホイール・パークの作動）
- パーキング・ブレーキの効き具合
- ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態／ブレーキ液の量　／
- ブレーキ・マスタ・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・チャンバのロッドのストローク／ブレーキ・チャンバの機能　／
- ブレーキ・バルブ、クイック・レリーズ・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
- ブレーキ倍力装置の油密、気密、チェック・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ・カムの摩耗／ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間　A
- ☆ブレーキ・シューの摩耗分、ライニングの摩耗／ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷
- ブレーキのバック・プレートの状態／ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間☆　／
- ☆ブレーキ・パッドの摩耗／ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷　／
- センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
- センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
- センタ・ブレーキのライニングの摩耗／センタ・ブレーキ・ドラムの摩耗・損傷　レ
- 二重安全ブレーキ機構の機能

■走行装置
- A ☆タイヤの空気圧 ／ タイヤの亀裂、損傷☆　レ
- レ ☆タイヤの溝の深さ、異常摩耗／スペア・タイヤの空気圧　レ
- ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み ／ ホイール・ナット、ホイール・ボルトの脱落　※

- リム、サイド・リング、ディスク・ホイールの損傷　レ
- ☆フロント・ホイール・ベアリングのがた／リヤ・ホイール・ベアリングのがた　グリスメ

■サスペンション
- リーフ・スプリングの損傷
- リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付部の緩み、損傷
- リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部のがた
- コイル・スプリングの損傷
- コイル・サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた
- コイル・サスペンション各部の損傷／エア・サスペンションのエア漏れ　／
- ☆エア・サスペンションのベローズの損傷
- ☆エア・サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷
- エア・サスペンションのレベリング・バルブの機能
- ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ

■動力伝達装置
- クラッチ・ペダルの遊び
- クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間
- クラッチの作用 ／ クラッチ液の量　レ
- ☆トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ／トランスミッション、トランスファのオイルの量☆　レ
- ☆プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み
- ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン部のがた
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のがた
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのセンタ・ベアリングのがた
- ☆デファレンシャルのオイル漏れ／デファレンシャルのオイル量☆　×

■電気装置
- ☆スパーク・プラグの状態（白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可）
- 点火時期 ／ディストリビュータのキャップの状態　／
- バッテリのターミナル部の緩み、腐食／電気配線の接続部の緩み、損傷　レ

■エンジン
- 低速、加速の状態 ／ 排気ガスの色　レ
- CO、HCの濃度／エア・クリーナエレメントの汚れ、詰まり、損傷☆　×
- シリンダ・ヘッド、マニホールド各部の締付状態
- エンジン・オイルの漏れ ／ 燃料漏れ　レ

- ファン・ベルトの緩み、損傷／冷却水の漏れ　レ

■ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置
- メタリング・バルブの状態／ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷　レ
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷
- チャコール・キャニスタの詰まり、損傷
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能
- 触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
- 二次空気供給装置の機能／排気ガス再循環装置の機能　レ
- 減速時排気ガス減少装置の機能
- 一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態

■附属装置等
- ホーンの作用 ／ ワイパの作用　レ
- ウインド・ウォッシャの作用 ／ デフロスタの作用　レ
- ハンドル・ロック装置の作用
- ☆エキゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食
- ☆遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食
- マフラの機能 ／ エア・タンクの凝水　レ
- エア・コンプレッサの機能／プレッシャ・レギュレータ、アンローダ・バルブの機能　レ
- 非常口の扉の機能／フレーム、ボディーの緩み、損傷　レ
- 連結装置のカプラの機能、損傷
- 連結装置のピントル・フックの摩耗、亀裂、損傷
- シート・ベルトの損傷、作用　レ
- 開閉発車防止装置の機能／シャシ各部の給油脂状態

■高圧ガスを燃料とする燃料装置等
- パイプ・ジョイント部のガス漏れ、損傷／ガス・ボンベ取付部の緩み、損傷

日常点検
- バッテリ液の量 ／ 冷却水の量　レ
- エンジン・オイルの量／エンジンのかかり具合、異音　レ
- ヘッド・ランプ、ストップ・ランプ、ウィンカ・ランプ等の点灯、汚れ、損傷 ／ ※ディスク・ホイールの取付状態

その他の点検項目
積載ステッカー	×
フロント泉ちの内 左	×

厳しい使われ方をする車の点検項目
ステアリング・ギヤ・ボックスの機能	レ
ナックル、かじ取り車輪の旋回動作	レ
シャシばね、ショック・アブソーバの緩衝能力	レ
トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能	レ
プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの回転時の状態	レ
エンジンの運転状態	レ

特殊な構造及び装置の点検項目
ターボチャージャのロータの回転具合	レ

交換部品等
交換部品等	数量
シールキット	1
エンジンオイル	11
エンジンオイルエレメント	1
ミッションオイル	6
デフオイル	6
PCVエレメント	1
カートリッジグリス	2
ブレーキフルード	2
ハブグリス	4
車載要ステッカー	1
インジェクタークリーナー	1
負荷	2
エアーフィルター	1
ワイパーゴム	2

メンテナンスに関するアドバイス

●CO、HC濃度（アイドリング時）

CO	%
HC	ppm

●タイヤの溝の深さ（1.6mm以上）

	左	右
前輪 前	11 mm	11 mm
前輪 後	mm	mm
後輪 前	mm	mm
後輪 後	mm	mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

	左	右
前輪 前	5 mm	6 mm
前輪 後	mm	mm
後輪 前	mm	mm
後輪 後	mm	mm

[redacted]

点検年月日　1年 7月 6日
整備完了年月日　年 月 日
整備主任者の氏名　[redacted]
点検（整備）時の総走行距離　km

使用者用

※印の項目は、車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車が対象。
◎印の点検は、人の運送の用に供するバス、タクシー、レンタカー等が対象。
／ ステアリング装置、ブレーキ装置、走行装置、サスペンション、動力伝達装置、電気装置、エンジン、ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置、附属装置等、高圧ガスを燃料とする燃料装置等の各点検項目は法に定められた定期点検項目を示します。

● 検査機器等による検査

制動力

			軸重	左右差
前軸	前前軸	右 8270 N	2495 kg	30 N
		左 8240 N		0.02 N/kg
	前後軸	右 ------	軸重 ------ kg	左右差 ------
		左 ------		
後軸	後前軸	右 ------	軸重 ------ kg	左右差 ------
		左 ------		
	後後軸	右 5890 N	軸重 2410 kg	左右差 980 N
		左 6870 N	5.29 N/kg	0.41 N/kg
計		29270 N	車両重量 4905 kg	5.96 N/kg
手動		11290 N		2.30 N/kg

走行テスト等の方法と結果

前照灯

	右	左
取付高さ	すれ違い灯 91.0 cm	87.0 cm
光軸	下 9.7 cm	下 11.1 cm
	左・右 6.6 cm	左・右 0.1 cm
光度	主×100 **** cd	主×100 **** cd
	副×100 189 cd	副×100 195 cd

前部霧灯	警音器
×100 ------ cd	聴感・テスタ 100 デシベル
速度計の誤差	定常走行騒音
⊕・－ 3.6 km/h	聴感・テスタ 良好 デシベル
指示針の振れ	排気騒音
km/h	聴感・テスタ 良好 デシベル
速度表示灯の誤差	C O
＋・－ ------ km/h	------ %
タイヤの振れ	H C
良・否	4～・2～・特殊 ------ ppm
サイド・スリップ	黒煙・粒子状物質
イン・アウト 2.5 mm	視認・テスタ % 0.09 m⁻¹

● 目視等による検査

構造	① 最低地上高	レ	③ 最小回転半径	レ
	② 最大安定傾斜角度	レ		
装置	① 原動機及び動力伝達装置	レ	⑪ 騒音防止装置	レ
	② 走行装置	レ	⑫ ばい煙等の発散防止装置	レ
	③ 操縦装置	レ	⑬ 灯火装置及び反射器	レ
	④ 制動装置	レ	⑭ 警報装置	レ
	⑤ 緩衝装置	レ	⑮ 指示装置	レ
	⑥ 燃料装置及び電気装置	レ	⑯ 視野を確保する装置	レ
	⑦ 車枠及び車体	レ	⑰ 走行距離計その他の計器	レ
	⑧ 連結装置	／	⑱ 防火装置	／
	⑨ 乗車装置及び物品積載装置	レ	⑲ 内圧容器及びその附属装置	レ
	⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス	レ	⑳ その他	レ

黒煙の視認は空ぶかし実施による

1回目	2回目	3回目
0.087 m⁻¹	------ m⁻¹	------ m⁻¹

● 自動車検査証、抹消登録証明書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名	型式	乗車定員	最大積載量
普通・小型・軽・大特	貨物	自家用・事業用	バン	いすゞ	TKG-FRR90S2	2 人	3000 kg

車両重量	車両総重量	原動機の型式	長さ	幅	高さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	その他
4850 kg	7960 kg	4HK1	830 cm	249 cm	352 cm	5.19 kw	ガソリン・軽油 LPG・CNG・その他	燃料タンク 1個 200L

● 依頼者の氏名等

受付年月日	1年 7月 6日
依頼者の氏名又は名称及び住所	[redacted]

（依頼者の依頼事項）
・エンジンオイル・エレメント交換
・ワイパーゴム

（備考）B75-7493

受入	中間	作業者
[redacted]		[redacted]

初度登録年月又は初度検査年月	26 年 8 月
検査の年月日	1年 7月 6日
自動車検査員の氏名	[redacted]

保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	保安基準適合標章交付
1545	（有）・無
限定保安基準適合証の番号	

□ は様式に定められていない項目を示す。

点検整備記録簿
分解整備記録簿（写）

● 点検の結果及び整備の概要
12ヶ月定期点検

3（　　）
12（　　＋　　）（☆印は3ヶ月2,000km以下の走行距離によって省略できる項目）

点検良好	良 レ	交換	交 ×	調整	調 A	清掃	清 C	省略	省 P
分解	分 ○	修理	修 △	締付	締 T	給油(水)	給 L	該当なし	／

型式指定・類別区分番号
オーダー・ナンバー
次回点検年月日　　年　月　日

[redacted]

車台番号 FRR90 -7065490

事業用自動車等・別表第3

注 点検整備記録簿は法令により二年間携行保存することとなっておりますが、生涯記録簿として長期間携行保存してください。

■ステアリング装置

レ	ハンドルの操作具合 ／ ハンドルの遊び、がた
レ	ステアリング・ギヤ・ボックスのオイルの漏れ／ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み
レ	☆ロッド、アーム類の緩み、がた、損傷
レ	ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷
レ	☆ステアリング・ナックルの連結部のがた／ホイール・アライメント
／	パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷／パワー・ステアリングのオイルの漏れ☆
レ	☆パワー・ステアリングのオイルの量／パワー・ステアリングの取付けの緩み

■ブレーキ装置

レ	ブレーキ・ペダルの遊び／ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間
レ	ブレーキの効き具合
レ	パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ(ホイール・パークの作動)
レ	パーキング・ブレーキの効き具合
レ	ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態／ブレーキ液の量
／	ブレーキ・マスタ・シリンダの機能、摩耗、損傷
✓	ブレーキ・ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷
／	ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷
／	ブレーキ・チャンバのロッドのストローク／ブレーキ・チャンバの機能
レ	ブレーキ・バルブ、クイック・レリーズ・バルブ、リレー・バルブの機能
レ	ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
レ	ブレーキ倍力装置の油密、気密、チェック・バルブ、リレー・バルブの機能
／	ブレーキ・カムの摩耗／ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
／	☆ブレーキ・シューの駆動部分、ライニングの摩耗／ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷
／	ブレーキのバック・プレートの取付け／ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間☆
／	☆ブレーキ・パッドの摩耗／ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷
／	センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
／	センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
／	センタ・ブレーキのライニングの摩耗／センタ・ブレーキ・ドラムの摩耗・損傷
／	二重安全ブレーキ機構の機能

■走行装置

レ	☆タイヤの空気圧 ／ タイヤの亀裂、損傷☆
レ	☆タイヤの溝の深さ、異常摩耗／スペア・タイヤの空気圧
レ	ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み ／ ホイール・ナット、ホイール・ボルトの損傷 ※
レ	リム、サイド・リング、ディスク・ホイールの損傷
／	☆フロント・ホイール・ベアリングのがた／リヤ・ホイール・ベアリングのがた

■サスペンション

レ	リーフ・スプリングの損傷
レ	リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付部の緩み、損傷
レ	リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部のがた
／	コイル・スプリングの損傷
／	コイル・サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた
／	コイル・サスペンション各部の損傷／エア・サスペンションのエア漏れ
レ	☆エア・サスペンションのベローズの損傷
レ	☆エア・サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷
レ	エア・サスペンションのレベリング・バルブの機能
レ	ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ

■動力伝達装置

レ	クラッチ・ペダルの遊び
レ	クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間
レ	クラッチの作用 ／ クラッチ液の量
レ	☆トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ／トランスミッション、トランスファのオイルの量☆
レ	☆プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み
／	ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷
／	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン部のがた
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・ジャフトのユニバーサル・ジョイント部のがた
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのセンタ・ベアリングのがた
レ	☆デファレンシャルのオイル漏れ／デファレンシャルのオイル量☆

■電気装置

／	☆スパーク・プラグの状態（白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可）
／	点火時期 ／ディストリビュータのキャップの状態
／	バッテリのターミナル部の緩み、腐食／電気配線の接続部の緩み、損傷

■エンジン

／	低速、加速の状態 ／ 排気ガスの色
／	CO、HCの濃度／エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷☆
／	シリンダ・ヘッド、マニホールド各部の締付状態
／	エンジン・オイルの漏れ ／ 燃気漏れ
レ	ファン・ベルトの緩み、損傷／冷却水の漏れ

■ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置

レ	メタリング・バルブの状態／ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷
／	燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷
／	チャコール・キャニスタの詰まり、損傷
／	燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能
／	触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
／	二次空気供給装置の機能／排気ガス再循環装置の機能
／	減速時排気ガス減少装置の機能
レ	一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態

■附属装置等

レ	ホーンの作用 ／ ワイパの作用
レ	ウインド・ウォッシャの作用 ／ デフロスタの作用
レ	ハンドル・ロック装置の作用
レ	☆エキゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食
レ	☆遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食
レ	マフラの機能 ／ エア・タンクの凝水
レ	エア・コンプレッサの機能／プレッシャ・レギュレータ、アンローダ・バルブの機能
／	非常口の扉の機能／フレーム、ボディーの緩み、損傷
／	連結装置のカプラの機能、損傷
／	連結装置のピントル・フックの摩耗、亀裂、損傷
レ	◎シート・ベルトの損傷、作用
／	開閉発車防止装置の機能／シャシ各部の給油脂状態

■高圧ガスを燃料とする燃料装置等

／	パイプ・ジョイント部のガス漏れ、損傷／ガス・ボンベ取付部の緩み、損傷

日常点検

レ	バッテリ液の量 ／ 冷却水の量
レ	エンジン・オイルの量／エンジンのかかり具合、異音
レ	ヘッドランプ、ウインカ・ランプ等の点灯・汚れ、損傷 ／ ※ディスク・ホイールの取付状態

その他の点検項目

レ	オフレバー
レ	積載ステッカー

厳しい使われ方をする車の点検項目

レ	ステアリング・ギヤ・ボックスの機能
レ	ナックル、かじ取り車輪の旋回動作
レ	シャシばね、ショック・アブソーバの緩衝能力
レ	トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの回転時の状態
レ	エンジンの運転状態

特殊な構造及び装置の点検項目

交換部品等

交換部品等	数量
エンジンオイル	12
エンジンオイルエレメント	1
ミッションオイル	6
デフオイル	5
ファンベルト	1
エアコンベルト	1
フューエルエレメント	1
ヒーターエレメント	1
Pcvエレメント	1
カップリング	1
ブレーキ液	2
リアハブエアターミナル	2
積載ステッカー	1
サンフレヤー	1
ワイパーゴム	2
カートリッジグリス	1
ナンバー灯バルブ	1

メンテナンスに関するアドバイス

使用者用

CO、HC濃度（アイドリング時）

CO	%
HC	ppm

タイヤの溝の深さ（1.6mm以上）

	左	右
前輪 前	8 mm	7 mm
前輪 後	mm	mm
後輪 前	mm	mm
後輪 後	mm	mm

ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

	左	右
前輪 前	8 mm	8 mm
前輪 後	mm	mm
後輪 前	mm	mm
後輪 後	mm	mm

[redacted]

点検年月日 30年 7月 14日
整備完了年月日 年 月 日
点検（整備）時の総走行距離 km

※印の項目は、車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車が対象。
◎印の点検は、人の運送の用に供するバス、タクシー、レンタカー等が対象。
／ ステアリング装置、ブレーキ装置、走行装置、サスペンション、動力伝達装置、電気装置、エンジン、ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置、附属装置等、高圧ガスを燃料とする燃料装置等の各点検項目は法に定められた定期点検項目を示します。

● 検査機器等による検査

制動力

			軸重	左右差
前軸	前前軸	右 8390 N	軸重 2495 kg	左右差 720 N 0.29 N/kg
		左 7670 N		
	前後軸	右 ------	軸重 ------ kg	左右差 ------
		左 ------		
後軸	後前軸	右 ------	軸重 ------ kg	左右差 ------
		左 ------		
	後後軸	右 7310 N	軸重 2410 kg	左右差 1190 N
		左 6120 N	5.57 N/kg	0.50 N/kg
計		29490 N	車両重量 4905 kg	6.01 N/kg
手動		10220 N		2.08 N/kg

走行テスト等の方法と結果

前照灯

	右	左
取付高さ	すれ違い灯 90.0 cm	89.0 cm
光軸 下	9.6 cm	5.5 cm
光軸 左・右	左 0.9 cm	右 2.7 cm
光度 主×100	**** cd	**** cd
光度 副×100	207 cd	375 cd

前部霧灯	×100 ------ cd
速度計の誤差	⊕・－ 0.6 km/h
指示針の振れ	km/h
速度表示灯の誤差	＋・－ ------ km/h
タイヤの振れ	良・否
サイド・スリップ	イン・アウト 1.5 mm

警音器	聴感・テスタ 98 デシベル
定常走行騒音	聴感・テスタ 良好 デシベル
排気騒音	聴感・テスタ 良好 デシベル
	C O
	------ %
	H C
	4～・2～・特殊 ------ ppm
黒煙・粒子状物質	視認・テスタ 0.05 %

● 目視等による検査

構造	① 最低地上高	レ	③ 最小回転半径	レ
	② 最大安定傾斜角度	レ		
装置	① 原動機及び動力伝達装置	レ	⑪ 騒音防止装置	レ
	② 走行装置	レ	⑫ ばい煙等の発散防止装置	レ
	③ 操縦装置	レ	⑬ 灯火装置及び反射器	レ
	④ 制動装置	レ	⑭ 警報装置	レ
	⑤ 緩衝装置	レ	⑮ 指示装置	レ
	⑥ 燃料装置及び電気装置	レ	⑯ 視野を確保する装置	レ
	⑦ 車枠及び車体	レ	⑰ 走行距離計その他の計器	レ
	⑧ 連結装置	／	⑱ 防火装置	／
	⑨ 乗車装置及び物品積載装置	レ	⑲ 内圧容器及びその附属装置	レ
	⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス	レ	⑳ その他	レ

黒煙の視認は空ぶかし実施による

1回目	2回目	3回目
0.045 %	------ %	------ %
	------ m^{-1}	------ m^{-1}

● 自動車検査証、抹消登録証明書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名	型式	乗車定員	最大積載量
普通・小型・軽・大特	貨物	自家用・事業用	バン	いすゞ	TKG-FRR90S2	2 人	3000 kg

車両重量	車両総重量	原動機の型式	長さ	幅	高さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	その他
4850 kg	7960 kg	4HK1	830 cm	249 cm	352 cm	5.19 kw	ガソリン・軽油・LPG・CNG・その他	燃料タンク 1 200L

● 依頼者の氏名等

受付年月日 30 年 7 月 14 日

依頼者の氏名又は名称及び住所 [redacted]

（依頼者の依頼事項）
きっかけ ）交換
デフ入れ

初度登録年月又は初度検査年月 26 年 8 月
検査の年月日 30 年 7 月 15 日
自動車検査員の氏名 [redacted]

保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	保安基準適合標章交付
1530	有・無

限定保安基準適合証の番号

（備考）B1 119702

受入 中間 作業者 [redacted]

[redacted]

□ は様式に定められていない項目を示す。

平成19年 改正A3

21.8.7

型式 160701 S-1403

点検整備記録簿
分解整備記録簿（写）

● 点検の結果及び整備の概要

3（　　）
12（　　＋　　）
（☆印は3ヶ月2,000km以下の走行距離によって省略できる項目）

点検良好	良 レ	交換	交 ×	調整	調 A	清掃	清 C	省略	省 P
分解	分 ○	修理	修 △	締付	締 T	給油(水)	給 L	該当なし	／

型式指定・類別区分番号

オーダー・ナンバー

次回点検年月日　　年　　月　　日

[redacted]

車台番号 FRR90 -7065490

事業用自動車等・別表第3

注 点検整備記録簿は法令により二年間携行保存することとなっておりますが、生涯記録簿として長期間携行保存してください。

■ステアリング装置

レ	ハンドルの操作具合 ／ ハンドルの遊び、がた
レ	ステアリング・ギヤ・ボックスのオイルの漏れ／ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み
レ	☆ロッド、アーム類の緩み、がた、損傷
レ	ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷
レ	☆ステアリング・ナックルの連結部のがた／ホイール・アライメント
／	パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷／パワー・ステアリングのオイルの漏れ☆
レ	☆パワー・ステアリングのオイルの量／パワー・ステアリングの取付けの緩み

■ブレーキ装置

レ	ブレーキ・ペダルの遊び／ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間
レ	ブレーキの効き具合
レ	パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ(ホイール・パークの作動)
レ	パーキング・ブレーキの効き具合
レ	ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態／ブレーキ液の量
レ	ブレーキ・マスタ・シリンダの機能、摩耗、損傷
C	ブレーキ・ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷
／	ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷
／	ブレーキ・チャンバのロッドのストローク／ブレーキ・チャンバの機能
レ	ブレーキ・バルブ、クイック・リリーズ・バルブ、リレー・バルブの機能
レ	ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
レ	ブレーキ倍力装置の油密、気密、チェック・バルブ、リレー・バルブの機能
／	ブレーキ・カムの摩耗／ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間 A
C	☆ブレーキ・シューの摩動部分、ライニングの摩耗／ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷 C
／	ブレーキのバック・プレートの状態／ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間☆
／	☆ブレーキ・パッドの摩耗／ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷
レ	センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
レ	センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
レ	センタ・ブレーキのライニングの摩耗／センタ・ブレーキ・ドラムの摩耗・損傷
レ	二重安全ブレーキ機構の機能

■走行装置

A	☆タイヤの空気圧 ／ タイヤの亀裂、損傷☆
レ	☆タイヤの溝の深さ、異常摩耗／スペア・タイヤの空気圧
T	ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み ／ ホイール・ナット、ホイール・ボルトの損傷 ※
レ	リム、サイド・リング、ディスク・ホイールの損傷
C	☆フロント・ホイール・ベアリングのがた／リヤ・ホイール・ベアリングのがた

■サスペンション

レ	リーフ・スプリングの損傷
レ	リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付部の緩み、損傷
レ	リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部のがた
／	コイル・スプリングの損傷
／	コイル・サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた
／	コイル・サスペンション各部の損傷／エア・サスペンションのエア漏れ
／	☆エア・サスペンションのベローズの損傷
／	☆エア・サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷
／	エア・サスペンションのレベリング・バルブの機能
レ	ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ

■動力伝達装置

レ	クラッチ・ペダルの遊び
レ	クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間
レ	クラッチの作用 ／ クラッチ液の量
レ	☆トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ／トランスミッション、トランスファのオイルの量☆
レ	☆プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み
／	ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン部のがた
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のがた
レ	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのセンタ・ベアリングのがた
レ	☆デファレンシャルのオイル漏れ／デファレンシャルのオイル量☆

■電気装置

／	☆スパーク・プラグの状態（白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可）
／	点火時期 ／ディストリビュータのキャップの状態
レ	バッテリのターミナル部の緩み、腐食／電気配線の接続部の緩み、損傷

■エンジン

レ	低速、加速の状態 ／ 排気ガスの色
／	CO、HCの濃度／エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷☆
レ	シリンダ・ヘッド、マニホールド各部の締付状態
レ	エンジン・オイルの漏れ ／ 燃料漏れ
レ	ファン・ベルトの緩み、損傷／冷却水の漏れ

■ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置

レ	メタリング・バルブの状態／ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷
／	燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷
／	チャコール・キャニスタの詰まり、損傷
／	燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能
レ	触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
／	二次空気供給装置の機能／排気ガス再循環装置の機能
／	減速時排気ガス減少装置の機能
レ	一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態

■附属装置等

レ	ホーンの作用 ／ ワイパの作用
レ	ウインド・ウォッシャの作用 ／ デフロスタの作用
レ	ハンドル・ロック装置の作用
レ	☆エキゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食
レ	☆遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食
レ	マフラの機能 ／ エア・タンクの凝水
レ	エア・コンプレッサの機能／プレッシャ・レギュレータ、アンローダ・バルブの機能
レ	非常口の扉の機能／フレーム、ボディーの緩み、損傷
／	連結装置のカプラの機能、損傷
／	連結装置のピントル・フックの摩耗、亀裂、損傷
レ	◎シート・ベルトの損傷、作用
／	開扉発車防止装置の機能／シャシ各部の給油脂状態

■高圧ガスを燃料とする燃料装置等

／	パイプ・ジョイント部のガス漏れ、損傷／ガス・ボンベ取付部の緩み、損傷

日常点検

レ	バッテリ液の量 ／ 冷却水の量
レ	エンジン・オイルの量／エンジンのかかり具合、異音
レ	ヘッド・ランプ、ストップ・ランプ、ウインカ・ランプ等の点灯、汚れ、損傷 ／ ※ディスク・ホイールの取付状態

その他の点検項目

厳しい使われ方をする車の点検項目

ステアリング・ギヤ・ボックスの機能	レ
ナックル、かじ取り車輪の旋回動作	レ
シャシばね、ショック・アブソーバの緩衝能力	レ
トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能	レ
プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの回転時の状態	レ
エンジンの運転状態	レ

特殊な構造及び装置の点検項目

ターボチャージャのロータの回転具合	レ

交換部品等

交換部品等	数量
Rデフオイル	2
プレーキオイル	2
ファンベルト	1
A/Cベルト	1
T/Mオイル	6
ATFオイル	6
エアーフィルターエレメント	1
エレメント	1
PCVエレメント	1
クランクパン	1
ガードリングゴム入	1
ゴムパッキン	5

メンテナンスに関するアドバイス

● CO、HC濃度（アイドリング時）

CO	%
HC	ppm

● タイヤの溝の深さ（1.6mm以上）

	左	右
前輪 前	9 mm	9 mm
前輪 後	mm	mm
後輪 前	mm	mm
後輪 後	mm	mm

● ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

	左	右
前輪 前	8/8 mm	8/8 mm
前輪 後	mm	mm
後輪 前	mm	mm
後輪 後	mm	mm

[redacted]

点検年月日　29年 7月 22日

整備完了年月日　年 月 日

点検（整備）時の総走行距離　[redacted] km

使用者用

※印の項目は、車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車が対象。
◎印の点検は、人の運送の用に供するバス、タクシー、レンタカー等が対象。
／ ステアリング装置、ブレーキ装置、走行装置、サスペンション、動力伝達装置、電気装置、エンジン、ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置、附属装置等、高圧ガスを燃料とする燃料装置等の各点検項目は法に定められた定期点検項目を示します。

● 検査機器等による検査

制動力

		右	軸重	左右差
前軸	前前軸	7140 N	2495 kg	380 N
		左 7520 N		0.16 N/kg
	前後軸	右 -----	軸重 ----- kg	左右差 -----
		左 -----		-----
後軸	後前軸	右 -----	軸重 ----- kg	左右差 -----
		左 -----		-----
	後後軸	右 6610 N	軸重 2410 kg	左右差 620 N
		左 7230 N	5.74 N/kg	0.26 N/kg
計		28500 N	車両重量 4905 kg	5.81 N/kg
手動		10240 N		2.08 N/kg

走行テスト等の方法と結果

前照灯

	右	左
取付高さ	すれ違い灯 90.0 cm	90.0 cm
光軸 下	8.7 cm	10.4 cm
光軸 左・右	2.6 cm	右・1.1 cm
光度 主×100	[redacted] cd	[redacted] cd
光度 副×100	116 cd	243 cd

前部霧灯	警音器
×100 ----- cd	聴感・テスタ 良好 デシベル
速度計の誤差	定常走行騒音
㊦・一 2.3 km/h	聴感・テスタ 良好 デシベル
指示計の振れ	排気騒音
km/h	聴感・テスタ 良好 デシベル
速度表示灯の誤差	C O
＋・－ ----- km/h	----- %
タイヤの振れ	H C
良・否	4サイクル・2サイクル・特殊 ----- ppm
サイド・スリップ	黒煙・粒子状物質
イン・アウト 0.3 mm	視認・テスタ % 0.12 m⁻¹

● 目視等による検査

構造	① 最低地上高	レ	⑪ 最小回転半径	レ
	② 最大安定傾斜角度	レ		
装置	① 原動機及び動力伝達装置	レ	⑪ 騒音防止装置	レ
	② 走行装置	レ	⑫ ばい煙等の発散防止装置	レ
	③ 操縦装置	レ	⑬ 灯火装置及び反射器	レ
	④ 制動装置	レ	⑭ 警報装置	レ
	⑤ 緩衝装置	レ	⑮ 指示装置	レ
	⑥ 燃料装置及び電気装置	レ	⑯ 視野を確保する装置	レ
	⑦ 車枠及び車体	レ	⑰ 走行距離計その他の計器	レ
	⑧ 連結装置	／	⑱ 防火装置	／
	⑨ 乗車装置及び物品積載装置	レ	⑲ 内圧容器及びその附属装置	レ
	⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス	レ	⑳ その他	レ

黒煙の視認は空ぶかし実施による

1回目	2回目	3回目
0.115 m⁻¹	----- m⁻¹	----- m⁻¹

● 自動車検査証、抹消登録証明書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名	型式	乗車定員	最大積載量
普通・小型・軽・大特	貨物	自家用・事業用	バン	いすゞ	TKG-FRR90S2	2 人	3000 kg

車両重量	車両総重量	原動機の型式	長さ	幅	高さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	その他
4850 kg	7960 kg	4HK1	830 cm	249 cm	352 cm	5.19 kw	ガソリン・軽油 LPG・CNG・その他	燃料タンク 1個 200L

● 依頼者の氏名等

受付年月日	29 年 7 月 22 日
依頼者の氏名又は名称及び住所	[redacted]

（依頼者の依頼事項）
M.Dオイル交換

（備考）
CG476290
受入　中間　作業者 [redacted]

初度登録年月又は初度検査年月
26 年 8 月
検査の年月日
29 年 7 月 23 日
自動車検査員の氏名 [redacted]

保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	保安基準適合標章交付
1651	有・無

限定保安基準適合証の番号

[ ] は様式に定められていない項目を示す。

平成19年　改正A3

30.8.7

型式 160701 S-140B

点検整備記録簿
分解整備記録簿（写）

● 点検の結果及び整備の概要

点検良好	良 レ	交換	交 ×	調整	調 A	清掃	清 C	省略	省 P
分解	分 ○	修理	修 △	締付	締 T	給油(水)	給 L	該当なし	／

12ヶ月定期点検 3（ ）12（ ＋ ）（☆印は3ヶ月2,000km以下の走行距離によって省略できる項目）

型式指定・類別区分番号

オーダー・ナンバー

次回点検年月日　　年　月　日

[redacted]

車台番号 FRR90 -7065490

事業用自動車等・別表第3

注 点検整備記録簿は法令により二年間携行保存することとなっておりますが、生涯記録簿として長期間携行保存してください。

■ステアリング装置
- ハンドルの操作具合 ／ ハンドルの遊び、がた
- ステアリング・ギヤ・ボックスのオイルの漏れ／ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み
- ☆ロッド、アーム類の緩み、がた、損傷
- ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷
- ☆ステアリング・ナックルの連結部のがた／ホイール・アライメント
- パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷／パワー・ステアリングのオイルの漏れ☆
- ☆パワー・ステアリングのオイルの量／パワー・ステアリングの取付けの緩み

■ブレーキ装置
- ブレーキ・ペダルの遊び／ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板とのすき間
- ブレーキの効き具合
- パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ(ホイール・パークの作動)
- パーキング・ブレーキの効き具合
- ブレーキ・ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態／ブレーキ液の量
- ブレーキ・マスタ・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ホイール・シリンダの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷
- ブレーキ・チャンバのロッドのストローク／ブレーキ・チャンバの機能
- ブレーキ・バルブ、クイック・レリーズ・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
- ブレーキ倍力装置の油密、気密、チェック・バルブ、リレー・バルブの機能
- ブレーキ・カムの摩耗／ブレーキ・トラムとライニングとのすき間
- ☆ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗／ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷
- ブレーキのバック・プレートの状態／ブレーキ・ディスクとパッドとのすき間☆
- ☆ブレーキ・パッドの摩耗／ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷
- センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
- センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間
- センタ・ブレーキのライニングの摩耗／センタ・ブレーキ・ドラムの摩耗・損傷
- 二重安全ブレーキ機構の機能

■走行装置
- ☆タイヤの空気圧 ／ タイヤの亀裂、損傷☆
- ☆タイヤの溝の深さ、異常摩耗／スペア・タイヤの空気圧
- ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み ／ ホイール・ナット、ホイール・ボルトの損傷※
- リム、サイド・リング、ディスク・ホイールの損傷
- ☆フロント・ホイール・ベアリングのがた／リヤ・ホイール・ベアリングのがた

■サスペンション
- リーフ・スプリングの損傷
- リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付部の緩み、損傷
- リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部のがた
- コイル・スプリングの損傷
- コイル・サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた
- コイル・サスペンション各部の損傷／エア・サスペンションのエア漏れ
- ☆エア・サスペンションのベローズの損傷
- ☆エア・サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷
- エア・サスペンションのレベリング・バルブの機能
- ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ

■動力伝達装置
- クラッチ・ペダルの遊び
- クラッチ・ペダルの切れたときの床板とのすき間
- クラッチの作用 ／ クラッチ液の量
- ☆トランスミッション、トランスファのオイルの漏れ／トランスミッション、トランスファのオイルの量☆
- ☆プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み
- ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツの亀裂、損傷
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのスプライン部のがた
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のがた
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのセンタ・ベアリングのがた
- ☆デファレンシャルのオイル漏れ／デファレンシャルのオイル量☆

■電気装置
- ☆スパーク・プラグの状態（白金プラグ、イリジウム・プラグは点検省略可）
- 点火時期 ／ディストリビュータのキャップの状態
- バッテリのターミナル部の緩み、腐食／電気配線の接続部の緩み、損傷

■エンジン
- 低速、加速の状態 ／ 排気ガスの色
- CO、HCの濃度／エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷☆
- シリンダ・ヘッド、マニホールド各部の締付状態
- エンジン・オイルの漏れ ／ 燃料漏れ
- ファン・ベルトの緩み、損傷／冷却水の漏れ

■ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置
- メタリング・バルブの状態／ブローバイ・ガス還元装置の配管の損傷
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷
- チャコール・キャニスタの詰まり、損傷
- 燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能
- 触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
- 二次空気供給装置の機能／排気ガス再循環装置の機能
- 減速時排気ガス減少装置の機能
- 一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態

■附属装置等
- ホーンの作用 ／ ワイパの作用
- ウインド・ウォッシャの作用 ／ デフロスタの作用
- ハンドル・ロック装置の作用
- ☆エキゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷、腐食
- ☆遮熱板の取付けの緩み、損傷、腐食
- マフラの機能 ／ エア・タンクの凝水
- エア・コンプレッサの機能／プレッシャ・レギュレータ、アンローダ・バルブの機能
- 非常口の扉の機能／フレーム、ボディーの緩み、損傷
- 連結装置のカプラの機能、損傷
- 連結装置のピントル・フックの摩耗、亀裂、損傷
- ※シート・ベルトの損傷、作用
- 開扉発車防止装置の機能／シャシ各部の給油脂状態

■高圧ガスを燃料とする燃料装置等
- パイプ・ジョイント部のガス漏れ、損傷／ガス・ボンベ取付部の緩み、損傷

日常点検
- バッテリ液の量 ／ 冷却水の量
- エンジン・オイルの量／エンジンのかかり具合、異音
- ヘッド・ランプ、ストップ・ランプ、ウインカ・ランプ等の点灯、汚れ、損傷 ／ ※ディスク・ホイールの取付状態

その他の点検項目

厳しい使われ方をする車の点検項目
- ステアリング・ギヤ・ボックスの機能
- ナックル、かじ取り車輪の旋回動作
- シャシばね、ショック・アブソーバの緩衝能力
- トランスミッション、トランスファの変速機構、動力分配機構の機能
- プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの回転時の状態
- エンジンの運転状態

特殊な構造及び装置の点検項目
- ターボチャージャのロータの回転具合

交換部品等

交換部品等	数量
ハブグリス	4
ニードル	1
ブレーキ	3
グリス	1
エアコンフィルタ	1
エレメント	1
ベアリングセット	1
ホイールクリーナー	1
ワイパーゴム	2
カートリッジグリス	1

メンテナンスに関するアドバイス

●CO、HC濃度（アイドリング時）

CO	----- %
HC	ppm

●タイヤの溝の深さ（1.6mm以上）

	左	右
前輪 前	8 mm	7 mm
前輪 後	----- mm	----- mm
後輪 前	mm	mm
後輪 後	mm	mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

	左	右
前輪 前	8 mm	8 mm
前輪 後	----- mm	----- mm
後輪 前	mm	mm
後輪 後	mm	mm

[redacted]

点検年月日 28年 7月30日

整備完了年月日 年 月 日

[redacted]

点検（整備）時の総走行距離 km

使用者用

※印の項目は、車両総重量8トン以上または乗車定員30人以上の自動車が対象。
◎印の点検は、人の運送の用に供するバス、タクシー、レンタカー等が対象。
ステアリング装置、ブレーキ装置、走行装置、サスペンション、動力伝達装置、電気装置、エンジン、ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置、附属装置等、高圧ガスを燃料とする燃料装置等の各点検項目は法に定められた定期点検項目を示します。

● 検査機器等による検査

制動力

			軸重	左右差
前軸	前前軸	右 7780 N	軸重 2495 kg	左右差 660 N
		左 7120 N		0.27 N/kg
	前後軸	右 -----	軸重 ----- kg	左右差 -----
		左 -----		
後軸	後前軸	右 -----	軸重 ----- kg	左右差 -----
		左 -----		
	後後軸	右 6860 N	軸重 2410 kg	左右差 510 N
		左 7370 N	5.90 N/kg	0.22 N/kg
計		29130 N	車両重量 4905 kg	5.93 N/kg
手動		11720 N		2.38 N/kg

走行テスト等の方法と結果

前照灯

	右	左
取付高さ	すれ違い灯 89.0 cm	90.0 cm
光軸	下 11.2 cm 左・右 2.5 cm	下 8.6 cm 左・右 1.6 cm
光度	主×100 ----- cd 副×100 172 cd	主×100 ----- cd 副×100 303 cd

前部霧灯	警音器
×100 ----- cd	聴感・テスタ 良好 デシベル
速度計の誤差	定常走行騒音
㊉・㊀ 1.7 km/h	聴感・テスタ 良好 デシベル
指示計の振れ	排気騒音
km/h	聴感・テスタ 良好 デシベル
速度表示灯の誤差	C O
＋・－ ----- km/h	----- %
タイヤの振れ	H C
良・否	4サイクル・2サイクル・特殊 ----- ppm
サイド・スリップ	黒煙・粒子状物質
イン・アウト 1.6 mm	視認・テスタ 0.17 %

● 目視等による検査

構造	① 最低地上高	レ	⑨ 最小回転半径	レ
	② 最大安定傾斜角度	レ		
装置	① 原動機及び動力伝達装置	レ	⑪ 騒音防止装置	レ
	② 走行装置	レ	⑫ ばい煙等の発散防止装置	レ
	③ 操縦装置	レ	⑬ 灯火装置及び反射器	
	④ 制動装置	レ	⑭ 警報装置	
	⑤ 緩衝装置	レ	⑮ 指示装置	
	⑥ 燃料装置及び電気装置	レ	⑯ 視野を確保する装置	
	⑦ 車枠及び車体	レ	⑰ 走行距離計その他の計器	
	⑧ 連結装置	／	⑱ 防火装置	
	⑨ 乗車装置及び物品積載装置	レ	⑲ 内圧容器及びその附属装置	
	⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス	レ	⑳ その他	

燃煙の視認は空ぶかし実施による

1回目	2回目	3回目
0.171 %	----- %	----- %
	----- m^{-1}	----- m^{-1}

● 自動車検査証、抹消登録証明書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状	車名	型式	乗車定員	最大積載量
普通・小型・軽・大特	貨物	自家用・事業用	バン	いすゞ	TKG-FRR90S2	2 人	3000 kg

車両重量	車両総重量	原動機の型式	長さ	幅	高さ	総排気量又は定格出力	燃料の種類	その他
4850 kg	7960 kg	4HK1	830 cm	249 cm	352 cm	5.19 kw	ガソリン・軽油 LPG・CNG・その他	燃料タンク 200l

● 依頼者の氏名等

受付年月日	28 年 7 月 30 日
依頼者の氏名又は名称及び住所	[redacted]

（依頼者の依頼事項）

初度登録年月又は初度検査年月	26 年 8 月
検査の年月日	28 年 7 月 31 日
自動車検査員の氏名	[redacted]
保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	1781
保安基準適合標章交付	有・無
限定保安基準適合証の番号	

（備考）

[redacted]

[redacted]

□は様式に定められていない項目を示す。

平成19年 改正A3

型式 070401 S-140B